

和歌山縣師範學校
中學校高等女學校入學
小學校教員檢定試驗
問題集

附 小學校教員檢定及中學校
高等女學校入學出願手續



049562-001-5

特26-151

和歌山縣師範學校中學校高等女學校入學

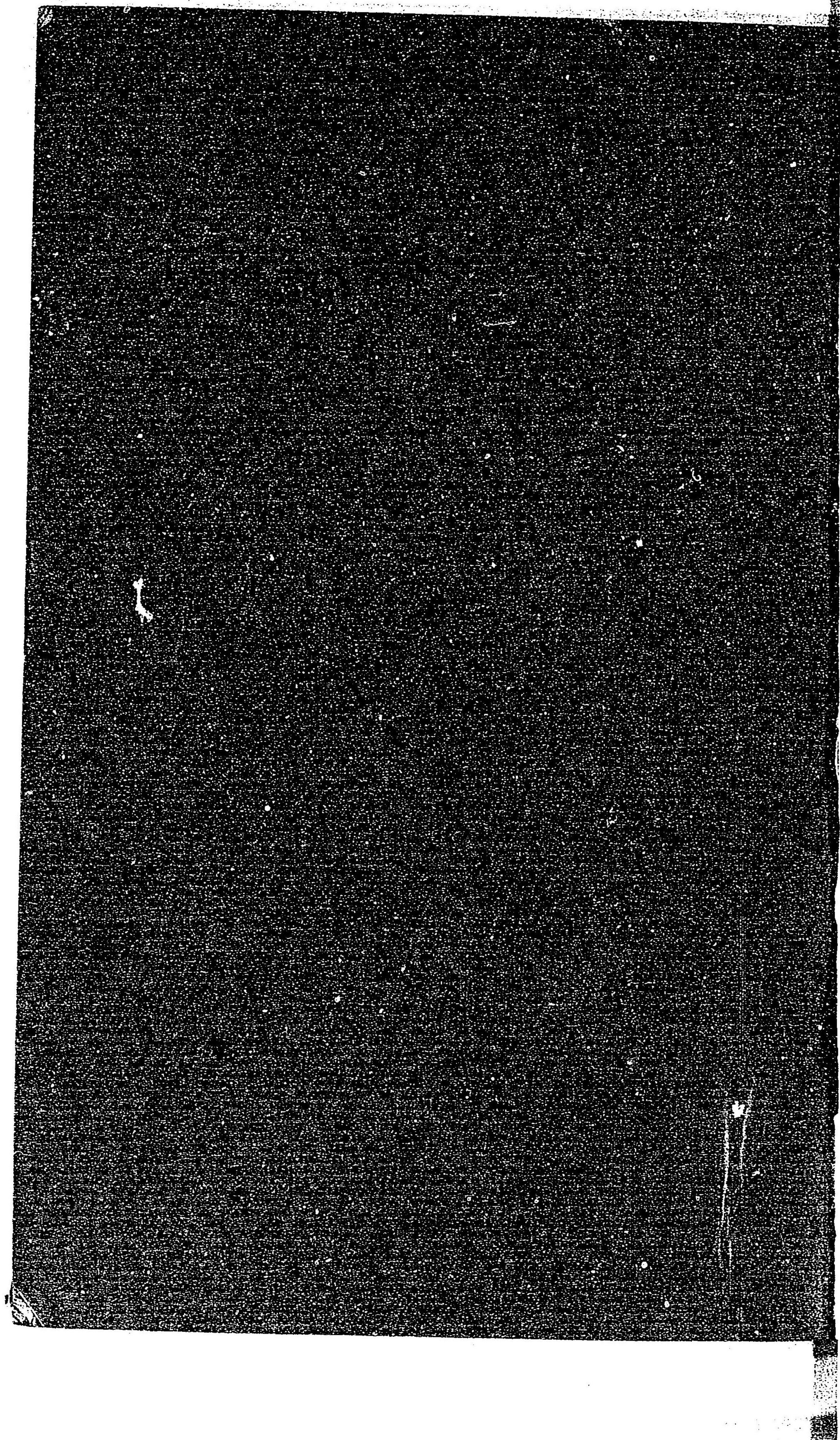
小學校教員檢定試驗問題集

宮井平安堂

M 3 6 . 3 7

BEM-0253





特26
151

試験問題集

豫備科豫備試験問題

(三十四年九月)



▲國語科

●作文

父無恩

暴風見舞ノ文

●習字

教フルハ學ブノ半

右行書平假名交リニ書スヘシ

▲算術科

●筆算



- 二
- (1) 甲ノ所有金ハ百五拾圓乙ノ所有金ハ二百七拾五圓ニシテ毎年甲ハ六拾圓乙ハ五拾五圓ヲ貯蓄スルトセバ幾年ノ後ニ甲乙ノ所有金等額トナルカ
 - (2) 生徒アリ午前ニ或書籍ヲ百六十五頁復習セシニ恰モ總頁數ノ七分ノ三ニ當レリト云フ然ルニ午後ニ復習セシハ總頁數ノ十一分ノ四ナリト云然ラバ午後ニ復習セシハ幾頁ニシテ又幾頁殘レルカ
 - (3) 七人ノ職工毎日八時間ツ、働キ十日間ニテ成功スベキ工事ヲ十二人ノ職工ガ毎日十時間ツ、働クトキハ幾日ニシテ成ルカ

●珠算

- (1) 一反八十五錢ノ木綿三百七十五反ト一反七十九錢ノ木綿五百二十八反トヲ仕入レ此代金トシテ時價八十九圓ノ公債證書(百圓券)幾枚渡シテ可ナルカ且ツ過金幾何ヲ生ズルカ
- (2) $525 \text{円} + 225 \text{円}$ ノ商ヲ求ム
但厘以下四捨五入セヨ

▲歴史科

- (一) 聖德太子ノ事蹟ヲ述ベヨ
- (二) 南北兩朝ノ合一ヲ問フ
- (三) 大阪夏陣ニツキ知ルトコロヲ述ベヨ

▲地理科

- (一) 三河ト云フ國名ノ起リヲ問フ
- (二) 我國ニテ最著名ナル石炭及ビ銅ノ產地各三ヶ所ヲ舉ゲヨ
- (三) 高野山及ビ新宮川ノ位置ヲ圖ニテ示セ

▲國語科

●講讀(第一)

- (1) 躑躅の咲きそろひたる、山櫻の己が梢とあらはれ出でたる、千景萬色、眸をめぐらすに従ひ兩山只走るが如くにして李太白が輕舟既過萬重山と詠せしは、かゝる境にもとぞ、思ひ出でらるゝ。

●講 讀 (第二)

- (一) 左ノ字音ヲシルセ
乾濕 踴躍 徵發 懶惰 遲鈍 稠密 油斷 金屬 道路 鞏固
- (二) 左ノ訓ヲシルセ
崩ル・碎ク 飾ル 辨フ 償フ 傷ク 挫ク 定ム 濫ニ 戯ル

豫備科本試験問題 (三十四年十月)

▲國語科

●講 讀 (第一)

- (一) 避難 措置 糊塗
右音ヲ附シ解釋セヨ
- (二) ソラタツ芙蓉ノ高嶺
御階ノ櫻

右傍柱ノ處ヲ解釋セヨ

●講 讀 (第二)

- 左ノ漢字ノ字音ヲ示セ
富饒 隋唐 鑄造 熱鬧 支度 渾濁 疏通 沿道 斡旋 相傳

●書 取

- (一) クーキ ポーチョー シ テ キハク ニ ナル トキハ キアツ ゲンシヨト
シテ スイギンチユーノタカサ クダル ナリ
- (二) 伊能忠敬 自ラ クッセズ シテ ニチャ カギョーヲ ツトメ ケンヤク
ヲ 守リ シヤシ ヲキン ジ ケレ バ カドー フタタビ ユタカニナレ
リ テンメイノ ダイキキン ニハ タクハヘタル ペイセンヲ 出シテ
キユーミンヲ スクヒキ

右二問ヲ漢字ヲ入レテ寧ニ清書シテ出スベシ

▲算術科

- (1) 甲乙二人アリ各一枚二十四行ノ書ヲ寫スニ甲ハ既ニ十二枚ヲ寫シ乙ハ既ニ七枚ヲ寫セシトキ同時ニ又寫シ始メシニ每五分時ニ甲ハ六行乙ハ九行ヲ寫シ、カバ最後ニ於テ兩人ノ書寫枚數相等シカリシト云フ然ラバ總枚數幾何ナルカ
- (2) 或人若干圓ノ金ヲ所有シ市場ニ至リ買物ヲナセシニ第一回ニハ所有金ノ十分一ヲ費シ第二回ニハ殘金ノ四分ノ三ヲ費シ而シテ其殘金ヲ計算セシニ最初所有金ノ七十二分ノ五ヨリ一圓六十錢多カリシト云フ兩回ニ於ケル買物ノ代價各幾何ナリシカ
- (3) 甲工九人ニテ七日ニテモ乙工七人ニテ八日ニテモ成スヘキ工事アリ今甲工五人乙工四人ニ命シテ成サシムルトキハ幾日ヲ要スルカ

本科男子入學試驗問題 (卅五年二月)

▲修身科

(一) 我が國體の他邦に冠絶する所以を述べよ

(二) 就學中學友の交際上主要とすべき心得如何。

▲國語科

●講讀 (第一)

(一) 左ノ文意ヲ詳説セヨ

(1) 天下ノ結構ハ日光山ニアリトイフベシ

(2) 需要供給ノ懸隔スル場合ニハ、一團ノ飯モ千金ヨリ貴カルベシ

(3) 露にはゑるむ色のにほひ、霜におごれる花のみさを、花といふ花多き中に、
又たぐふべき花やはある (菊)

(二) 左ノ熟語ノ字義ヲ釋シ然ル後其ノ意義ヲ述ベヨ

欽差 宿望 究竟 稽古 一氣壓

●講讀 (第二)

(一) 左ノ字音ヲ記ルセ

銳鈍 叩頭 卑怯 挿入 幹旋

(二) ずノ假名ヲ用フベキ國語十五ヲ記ルセ

(三) 左ノ語ヲ漢字ニテ書ケ

クサムラ ニギハシ ジンミンノフタンヲ輕クス デンボニ カンガイヌ サ
イホー ホセツ(タチヌヒ、ワクロヒ)

● 作文

(一) 余ガ志望

右普通文

(二) 身體薄弱にして、學藝の勉勵を過ごせる朋友に、二度目の注意を與ふ

右書牘文

● 習字

誨人不倦

右楷行二體用紙二葉ニ書スヘシ

▲ 算術科

● 筆算

(1) 或人金若干圓ヲ所持シテ買物ヲナスニ初メニハ其所持金ノ半ヨリ七圓少ク費シ次

ニ其殘金ノ半ヨリ拾二圓多ク費シ尙二拾圓ヲ殘セリト云フ此人ノ所持金幾何ナリ

シカ

(2) 一石ニ付十二圓五十錢ノ米ト七圓五十錢ノ麥トヲ合シテ若干石アリ麥ノ石數ハ米

ノ五分ノ三ニシテ其總代價ハ八百五十圓ナリ然ラバ米麥各幾石アリヤ

(3) 筆耕者アリ楷書ナレバ四日間ニ七拾六枚、行書ナレバ三日間ニ八十枚ヲ寫シ得ベ

シ今或書物ヲ楷行兩様ニ寫シタルニ楷書ノ方ハ行書ヨリ十一日二分ノ一多ク日數

ヲ要シタリト云フ此書物ノ枚數幾何ナルカ

● 珠算

(1) $(27379 + 7856) \div 45 + (5674 - 986) \times 256$

(2) 人力車アリ毎時二里拾二町四拾間ヅ、走ルトキハ拾八里二十九町二拾間ヲ進ムニ

ハ幾時間ヲ要スルカ

▲地理科

- (一) 信濃國ヨリ流レ出ヅル川々ニツイテ知ル所ヲ記セ
- (二) 東京ヨリ甲府ヲ經テ静岡ニ至ル道筋ニツイテ知ル所ヲ記セ
- (三) 我國ニ於ケル石炭ノ產地ヲ舉ゲヨ

▲歴史科

- (一) 欽明天皇及天智天皇ノ頃我國ノ三韓ニ於ケル勢力如何
- (二) 鎌倉時代ニ於ケル産業ノ發達ヲ述ベヨ
- (三) 左ノ事項ヲ問フ
 - 山法師 安政ノ大獄

本科女子入學試験問題 (卅五年二月)

▲修身科

- (一) 我が國體の他邦に冠絶する所以を述べよ
- (二) 就學中學友の交際上主要とすべき心得如何

▲國語科

●講讀 (第一)

- (一) 左ノ文意ヲ詳説セヨ
 - (2) 天下ノ結構ハ日光山ニアリトイフベシ
 - (2) 需要供給ノ懸隔スル場合ニハ、一團ノ飯モ千金ヨリ貴カルベシ
 - (3) 露にはほゑむ色のにはひ、霜におこれる花のみさを、花といふ花多き中に、
又たぐふべき花やはある (菊)

- (二) 左ノ熟語ノ字義ヲ釋シ然ル後其ノ意義ヲ述ベヨ

欽差 宿望 究竟 稽古 一氣壓

●講讀 (第二)

- (一) 左ノ字音ヲ記ルセ
 - 銳鈍 叩頭 卑怯 挿入 幹旋

(二)すの假名ヲ用フベキ國語十五ヲ記ルセ

(三)左ノ語ヲ漢字ニテ書ケ

クサムラ ニギハシ シンミンノフタンヲ輕クス デンボニ カンガイス サ
イホー ホセツ(タチヌヒ、ツクロヒ)

● 作文

(一)余ガ志望

右普通文

(二)身體薄弱にして、學藝の勉勵を過ごせる朋友に、二度目の注意を與ふ

右書牘文

▲ 算術科

● 筆算

- (1) 或人金若干圓ヲ所持シテ買物ヲナスニ初メニハ其所持金ノ半ヨリ七圓少ク費シ次ニ其殘金ノ半ヨリ拾二圓多ク費シ尙二拾圓ヲ殘セリト云フ此人ノ所持金幾何ナリ

シカ

- (2) 一石ニ付十二圓五十錢ノ米ト七圓五十錢ノ麥トヲ合シテ若干石アリ麥ノ石數ハ米ノ五分ノ三ニシテ其總代價ハ八百五十圓ナリ然ラバ米麥各幾石アリヤ
- (3) 筆耕者アリ楷書ナレバ四日間ニ七拾六枚行書ナレバ三日間ニ八十枚ヲ寫シ得ベシ今或書物ヲ楷行兩様ニ寫シタルニ楷書ノ方ハ行書ヨリ十一日二分ノ一多ク日數ヲ要シタリト云フ此書物ノ枚數幾何ナルカ

● 珠算

- (1) $(27879 + 7856) + 45 + (5674 - 936) \times 256$
- (2) 人力車アリ毎時二里拾二町四拾間ヅ、走ルトキハ拾八里二十九町二拾間ヲ進ムニハ幾時間ヲ要スルカ

▲ 歴史科

- (一) 欽明天皇及天智天皇ノ頃我國ノ三韓ニ於ケル勢力如何
- (二) 鎌倉時代ニ於ケル産業ノ發達ヲ述ベヨ

(三)左ノ事項ヲ問フ

山法師 安政ノ大獄

▲地理科

(一)信濃國ヨリ流レ出ヅル川々ニツイテ知ル所ヲ記セ

(二)東京ヨリ甲府ヲ經テ静岡ニ至ル道筋ニツイテ知ル所ヲ記セ

(三)我國ニ於ケル石炭ノ產地ヲ舉ゲヨ

男
女
本科本試験問題 (卅五年三月)

▲國語科

●講讀 (第一)

(一)或ハ三韓ヲ服シテ藩トシ或ハ肅慎ヲ平ゲテ貢ヲ徵シ給ヒ、細子千足ノ名風ニ四方

ニ著レタリ

(二)蒲柳ノ質光華六合ニ編ク譽ヲ丹者ニ馳ス三尺ノ秋水

以上二題詳解シ圈點ノ附シタルモノハ讀ミ方トモ附スベシ

●講讀 (第二)

(一)左ノ字音ヲ記ルセ

踴躍 橋梁 陸續 究竟 製造

(二)左ノ詞ニサルベキ假名ヲ附セヨ

削ル 侮ル 挫ク 嘲リ 飾ル

●書取

(一)ヒロク アイ スルヲ、ジントイヒ、己レヲオスヲジヨ トイフ。ニンタイシ

テ、事ニ當ルヲキン トイヒ、ヨヲセツスルヲ、ケン トイフ、ジンジヨ以テ

世ニ シヨセバ、メイヨトクポー キセズシテ到ルベク キンケン 以テ、事ヲ

行ハ、イシヨク、ザイブツ ヲノヅカラ足ルベシ

(二)バクフ ニテ漸ク ベンキヨノ ノ ポービ ニ チユーイシ 人ヲ遣ハシテ

エゾノ地ヲ ジュンシセシメタリ

- (三)或ハ シンヲ 唱へ、或ハ ジョーイ ヲ主トシ ゼンコク ソーゼン タリ
- (四)サセホ ニハ チンジユフ アリ。イヅハラニ ハ ケイビタイヲ置ケリ
以上片カナニテ書ケ トコロヲ漢字ヲ入レカヘヨ

▲算術科

●筆算

- (1) 米商アリ金八百五十五圓ヲ以テ一石ニ付十一圓ノ上米ト八圓ノ下米トヲ同石數ダケ買ヒ其上米ヲ賣リテ百五十五圓ノ利ヲ得タリ而シテ下米七石ノ賣價ハ上米五石ノ賣價ニ等シ然ラハ下米ヲ賣リテ得タル利金幾何ナルヤ
- (2) 或場所ヨリ東市迄ノ距離ハ西市マテノ距離ヨリ其五分ノ一遠シ今此場所ヨリ或旅人ガ日限ヲ定メテ毎日八里ツ、歩行シ東市ニ至ラントスレハ六里餘リ西市ニ至ラントスレバ一里餘ルト云フ其定メタル日限幾何ナルカ
- (3) 職工アリ最初金三圓四十錢ヲ有シ十二日間働キテ得タル賃金ヲ之ニ合シテ其四分ノ一ヲ費シ七圓五十錢殘レリト云フ此職工一日ノ賃金幾何ナルカ

豫備科入學試験問題 (卅五年二月)

▲歴史科

- (一)大化ノ改新ヲ述ベヨ
- (二)豊臣秀吉朝鮮ヲ征伐セシ原因ヲ問フ
- (三)左ノ事項ヲ解キアカセ

院宣 花ノ御所 美豆良

▲地理科

- (一)瀬戸内海ニ沿ヒタル港ヲ舉ゲヨ
- (二)神通川、筑後川、吉野川ニ沿ヒタル都邑ヲ一ヶ所ヅ、記セ
- (三)臺灣ノ産物並ニソノ産地ヲ記セ

▲算術科

●筆算

- (1) 旅人アリ甲府ヲ出デ、乙府マデ達セントシ五十八里三十五町四十八間五尺歩ミ乙府マデノ里程ヲ問ヘバ行先ノ里程ノ三倍ハコレマデノ里程ヨリ少キコト二里三十五町七間五尺ナリト云フ兩府ノ距離如何
- (2) 一升三十五錢ノ酒ト四十二錢ノ酒ト合セテ四斗九升アリ此代金十九圓六十七錢ナリト云フ各幾升ヅ、ナルカ
- (3) 農夫三人ニテ或原野ノ草ヲ刈ルニ五十八時間ヲ經テ甲ハ原野ノ七分ノ二ヲ刈リ乙ハ十四分ノ三ヲ刈リ丙ハ二十一分ノ四ヲ刈レリ然ルニ尙ホ十三反殘レリト云フ依テ此原野ノ段數ヲ問フ又悉ク刈取ルニハ尙ホ幾時間ヲ要スルカ

▲國語科

●講讀(第一)

- (一) 左ノ文意ヲ詳説セヨ
- (1) 天下ノ結構ハ日光山ニアリトイフベシ
- (2) 雷ハ昔ヨリ地震雷トテ、恐ルベキモノトセリ

- (3) 海岸ノ氣候ハ、風ノ吹キ方潮ノ流レ方ニ由テ、大ニ相違アルモノナリ
- (二) 左ノ熟語ノ字義ヲ釋シ、然ル後其ノ意義ヲ述ベヨ

殘酷 迷信 鹽梅 測候所 驕奢

●講讀(第二)

- (一) 左ノ字音ヲ記ルセ
- 製造 彈道 銳鈍 所屬 應諾
- (二) をト書クベキ國語十五ヲ舉ゲヨ
- (三) 左ノ語ヲ漢字ニテ書ケ
- フハイ(クサル) ウンバン(ハコブ) シューシヨ(シンバイ) キョーオト
- (ゴチソ) ユーギ、キユーケイ(アソビ、ヤスミ)

●作文

- (一) 我が國
- 右普通文

(二)伯父の許より左の書狀に接したり、これの返事を認めよ

將來何業に従事致す覺悟に候か、余は御身のためメンネル販賣業を相すゝめ申し候、若し其の通りなさるべく候はゞ、先づ今年あたりより當店に於て、一二年間見習ひ致さるゝこと、尤もよろしからんと存じ候、何れにせよ、くはしき御返事承りたく候

右書牘文

●習字

耻ヲ知ルハ勇ニ近シ

右行書平假名交リニ書スベシ

▲算術科

●珠算

(1) 四十五萬六千四百五十六ヲ七千六十七ニテ除セヨ

但シ一位マデ商ヲ求メ且ツ剩餘ヲ記セ

(2) $(2025+45) \div (640+20) + (57024 \div 81)$ 上式ノ値ヲ求ム

豫備科入學豫備試験問題 (卅五年九月)

▲國語科

●講讀 (第一)

(一)特に我が國の氣候温和中正にして且濕氣に雨量に、ゆたかなれば頗る樹木の成長に適し喬木鬱林は到る所に茂りあひて山野を幽邃ならしめ河湖を清麗ならしめて所々に山紫水明の勝區を成すこの明媚の風光は能く我が國民の氣風を陶冶し遂に世界に比類なき優美高尚の心を養ひ愛國の念を生せしめたり

以上詳解せよ

(二)經營 報本反始 亂雜 累徳

以上の熟語に字音を附して解釋せよ

●書取

(一)左の字音を記せ

言語 懶惰 收穫 油斷 道路

(二)「ジ」と書くべき國語十箇を擧げよ

(三)左の語を楷書にて漢字に改めよ

ヘイオン(オダヤカ) チヂヨク(ハヂ) エンダキ(シバイ) ハトー(ナミ) カ
イコン(キリヒラク)

● 作文

(一)勤と儉

右普通文

(二)父兄の意に反する志望をもてる朋友に與ふ

右書牘文

● 習字

孝弟ハ仁ヲ爲ルノ本

右行書平假名ニテ書スベシ

▲ 歴史科

(一)蝦夷征伐ヲ述ベヨ

(二)左ノ人々ノ重ナル事蹟ヲ問フ

新井白石 毛利元就

(三)左ノ事柄ヲ説ケ

大和繪 公武合體

▲ 地理科

(一)善き港とは如何なる港なるか

(二)淡路は何縣に屬するか

(三)横濱より汽車にて横須賀に至る間に通過する有名なる場所を記せ

(四)軍港の所在地を記せ

▲ 算術科

●筆算

- (1) 商人アリ一俵十五貫入りノ砂糖十五俵ヲ一貫目ニ付七十五錢ノ相場ニテ仕入レタリシカ之ヲ賣リテ二十八圓十二錢五厘ノ利ヲ得タリトイフ一貫目ノ賣價ハ如何ナリシカ
- (2) 洋服師等ノ稱スル一ヤールトハ凡我三尺ニ相當スルモノナリ今一ヤールニ付八十二錢五厘ノ洋ネルヲ以テ單衣ヲ仕立テントスルハ半巾ニシテ長サ鯨尺二丈七尺五寸ヲ要スル其價幾何ナルカ(單位以下ハ四捨五入セヨ又鯨尺一尺ハかね尺ノ一尺ニ寸五分ニ相當スルモノトス)
- (3) 米商アリ米若干俵ヲ每俵四圓ヅ、ニ賣リ其後米價騰貴セシトキ又五俵ヲ三十二圓五十錢ニ賣リシニ其收得金最初ノ收得金ノ八分ノ五ニアルト云フ此米商總計幾俵ノ米ヲ賣リシカ

●珠算

- (1) 五日二十三時四十一分四十二秒ヲ五十八分セヨ
- (2) 每尺ノ價十九錢五厘ノ絹二丈九尺四寸ヲ買フベキ金ヲ以テ每尺價二十四錢五厘ノ絹ヲ買フトキハ何程ヲ買ヒ得ルカ
- (3) $51,96 \times 5,64$ ノ價ヲ求ム

講習科入學試験問題 (三十五年二月)

▲國語科

●講讀(第一)

- (一) 左ノ文意ヲ詳説セヨ
- (1) 天下ノ結構ハ日光山ニアリトイフベシ
- (2) 需要供給ノ懸隔スル場合ニハ、一團ノ飯モ千金ヨリ貴カルベシ
- (3) 露にはゑるむ色のにほひ、霜におごれる花のみさを、花多き中に、又たぐふへき花やはある (菊)
- (二) 左ノ熟語ノ字義ヲ釋シ然ル後其ノ意義ヲ述ベヨ

欽差 宿望 究竟 稽古 一氣歴

● 講 讀 (第二)

(一) 左ノ字音ヲ記ルセ

銳鈍 叩頭 卑怯 挿入 幹旋

(二) すノ假名ヲ用フベキ國語十五ヲ記ルセ

(三) 左ノ語ヲ漢字ニテ書ケ

クサムラ ニギハシ ジンミンノフタンヲ輕クス デンボニ カンガイヌ サ
イホー、ホセツ(タチヌヒ、ツクロヒ)

● 作 文

(一) 余ガ志望

右普通文

(二) 身體薄弱にして、學藝の勉勵を過ごせる朋友に、二度目の注意を與ふ

右書牘文

▲ 算 術 科

● 筆 算

(1) 或人金若干圓ヲ所持シテ買物ヲナスニ初メニハ其所持金ノ半ヨリ七圓少ク費シ次ニ其殘金ノ半ヨリ十二圓多ク費シ尙二十圓ヲ殘セリト云フ此人ノ所持金幾何ナリシカ

(2) 一石ニ付十二圓五十錢ノ米ト七圓五十錢ノ麥トヲ合シテ若干石アリ麥ノ石數ハ米ノ五分ノ三ニシテ其總代價ハ八百五十圓ナリ然ラハ米麥各幾石アリヤ

(3) 筆耕者アリ楷書ナレバ四日間ニ七十六枚、行書ナレバ三日間ニ八十枚ヲ寫シ得ベシ今或書物ヲ楷行兩様ニ寫シタルニ楷書ノ方ハ行書ヨリ十一日二分ノ一多クノ日數ヲ要シタリト云フ此書物ノ枚數幾何ナルカ

● 珠 算

(1) $(27379 + 7856) \div 45 + (5674 - 986) \times 256$

(2) 人力車アリ毎時二里十二町四十間ヅ、走ルトキハ十八里二十九町二十間ヲ進ムニ

ハ幾時間ヲ要スルカ

▲地理科

- (一) 信濃國ヨリ流レ出ヅル川々ニツイテ知ル所ヲ記セ
- (二) 東京ヨリ甲府ヲ經テ静岡ニ至ル道筋ニツイテ知ル所ヲ記セ
- (三) 我國ニ於ケル石炭ノ產地ヲ舉ゲヨ

▲歴史科

- (一) 欽明天皇及天智天皇ノ頃我國ノ三韓ニ於ケル勢力如何
- (二) 鎌倉時代ニ於ケル産業ノ發達ヲ述ベヨ
- (三) 左ノ事項ヲ問フ
山法師 安政ノ大獄

豫備科試験問題

▲國語科

●講讀 (第一)

(一) 苟も師父の教を受け、先輩の講説を聞くときに當りては、尤も其放心を收めんこと肝要なるべし、若し空を度る鴻鵠に志を馳せ、門を過ぐる車馬に目を奪はれれば、心こゝに在らずして、視れども見えず、聽けども聞えず

(二) 道義 躊躇 點心 無聊

以上二題を詳解し(二)は字音をも附すべし

●講讀 (第二)

(一) 左ノ字音ヲシルセ

誘導 隆渥 風濤 蒐集 陸續

(二) 左ノ詞ニサルベキ假名ヲ附セヨ

葛 屑 辻 恥 竿

●書取

(一) サングはキョードーセイカツを成せる小動物の、ブンビツシたるセツカイシツの、

シューセキして成れるジエボクヨトのものなり。カイテイのガンセキにフチャク
せるが故に、一種のアミをかけて採る

(二)相撲をリヤクし、シミシをブイクす

(三)ヨコハマとヨツカイチとの間にテイユーカイをなすキセンあり

(四)地球のジテン、ユーテンする様は、コマのカイテンしながら、ウンドーするに似
たり

以上片かなにて書けるところを、漢字と入れかへよ

▲算術科

●筆算

- (1) 甲乙二人ノ脚夫アリ一時間ノ速サ甲ハ一里三町二十間乙ハ三十四町五十七間ナリ
此兩人ガ六里六町五十一間ヲ距ル東西兩村ヨリ相向テ同時ニ出發スルトキハ幾時
間ニテ出會フベキカ
- (2) 商人アリ三十日間ニ若干圓ノ金額ヲ利センコトヲ計畫セシニ漸ク四十日ニシテ其

目的ヲ達シタルガ故ニ平均一日ノ利益ハ豫定ヨリモ二十五錢少カリシト云フ若干
金トハ何程ナルカ

(3) $(18,93978 + 0.43) \div (0.172 + 0.08 + 1.004) \times 0.04$ ノ値ヲ問フ

(4) 牛二十五頭羊十頭ヲ一ケ月間飼フベキ草ヲ以テ羊ノミ飼ヘバ二十五頭ヅ、二ケ月
間飼ヒ得ベシ今此草ヲ以テ牛ノミ十二頭ヲバ幾ケ月間飼フベキカ

和歌山中學校入學試験問題 (三十五年四月)

▲作文及習字科

●書牘文

不在中に来りし人に送る文

但習字科ハ作文ノ手蹟ニ依テ採點ス

▲國語科

(一)容易 乾燥 卓絶 寂寞 因循

右讀方

(二)月日は一度行きて歸らざること流るゝ水の如し。今年の今日の今時再び歸らずなす事なくして等閑に時日を送るは身を徒になすなり惜むべし。大禹は聖人なりしだに猶寸陰を惜み給へり。況や末世の凡人をや

右解釋

▲算術科

- (1) 19,30164 ヲ .0239 ニテ除ヌ可シ
- (2) $(32 + 2\frac{1}{2} + 4\frac{1}{2}) + (7\frac{1}{4} - 6\frac{3}{8})$ ノ結果ヲ見出ヌベシ
- (3) 梨八千五百六十八個ヲ一宮ニ九十七個宛入レテ之ヲ宮詰メトナシ其残リヲ直チニ賣拂ヒシニ其代價廿五錢六厘ナリシト云フ問フ一宮ノ中ニアル梨ノ代價如何
- (4) 東西兩地アリ甲ハ東地ヲ發シ乙ハ西地ヲ發シ同ジ道路ニ沿ヒ相向フテ出發セシニ甲ハ全道路ノ三分ノ二ヲ歩ミ乙ハ全道路ノ四分ノ一ヲ歩ミシニ相去ルコト四里廿三町トナレリト云フ問フ此兩地間ノ距離何程

縣立和歌山高等女學校入學試驗問題 (三十四年四月)

本科第二學年

▲修身科 (一時間)

- (一)親ノ心ヲ安セム爲ニ子等ノ實行セル所ヲ述ベヨ
- (二)自身ヲ治ムルニツイテ教育勅語中特ニ心懸ケ居ルハ如何ナル御語ナルカ
- (三)朋友ヲ擇バザルベカラザル理由ヲ舉ゲヨ

▲國語科 (三時間)

(一)故きを棄て、新きに趨く近江朝廷の政に心よからず思ひ居るものも多かりけんを皇太弟大海人皇子は夙に天皇の御心と違ひ居しが如し天皇もこの御子を皇太弟にはたて給ひしかど猶おもしろからず思したりしが如しこゝに額田女王といふありて初め皇太弟の宮にいり後宮闈に召されて互に寵ありしかばかたぐ人しれぬ御憤りもありき

(二)からうじて 月ほのめきいづ 心もとなし いぶかしみ さかしげにもいふ
 名だゝる 佝僂匍匐 夜半食終りて乃發す 眞實を鑑識す 咀嚼 塵垢
 以上講讀

(三)學生の常として初のほどは随分能く勉強すれどもやうやくにして退屈の念を生じ
 その甚しきは終に廢學するにも至るものあるは畢竟成功を望むこと急なるによれ
 り

以上書取

● 作文 (二時間)

(一)鼠

▲ 歴史科 (二時間)

- (一)三韓征伐ノ爲ニ我國ニ得シ利益如何
- (二)平城朝ト稱スルハ何代ニシテ如何ナル御歴代ヲサシ奉ルカ
- (三)租庸調ニツキテ知レル所ヲシルセ

▲ 地理科 (二時間)

- (一)和歌山縣下ノ名所古刹五ヶ所ヲ舉ゲ其ノ有名ナル理由ヲモ附記セヨ
- (二)和歌山縣下ノ顯著ナル産物ヲ舉ゲ其ノ産地ヲモ述ベヨ

▲ 數學科 (二時間)

- (1) 五錢白銅貨ト二拾錢銀貨ト合セテ値四圓五拾五錢其個數四拾個ナリ各幾個ナルカ
- (2) 和歌山ヨリ某地マデ壹里二十四町ヲ隔ツ今音響ノ速サガ一秒時二百八十一間ナリ
 トセバ和歌山ニテ發シタル午砲ガ其某地ニ達スルニ幾何時ヲ要スルカ
 但秒以下ノ小數ハ四捨五入スベシ

- (3) 甲乙ノ和七十五甲乙ノ差五ナリ甲乙ノ積ヲ求ムベシ
- (4) $(38.57 + (14.7 \div 0.7)) \times 19$

右ノ結果ヲ問フ

(5)
$$\begin{array}{r} 221 \\ \times 19 \\ \hline 1999 \\ 2210 \\ \hline 4199 \end{array}$$

$$\frac{272}{425} = \frac{16}{\Delta}$$

$$\frac{3}{19} + \frac{1}{20} = \Delta$$

右イ、ロ、ハ、ノ、△ノ値ヲ求ム

▲理科 (二時間)

- (一)植物ノ類化作用トハ如何ナルコトヲ云フカ
- (二)かぶら くわゐる だいこん れんこん ゆり 等ノ人ノ食フ時ハ其植物ノイヅレノ部分ナルカ
- (三)蠶ノコトニツキテ知レル限リヲシルセ
- (四)魚ノ外形ヲエガキテ各部ノ名稱ヲ附シ其ノ用ヲシルセ
- (五)金鐵ニツキテシルル所ヲシルセ

▲習字科 (二時間)

(一)高等女學校

▲圖畫科

(一)もくれんげ

裁縫專修科第一學年

▲修身科 (一時間)

- (一)親ノ心ヲ安ゼムガ爲ニ子等ノ實行セル所ヲ述ベヨ
- (二)自身ヲ治ムルニツイテ教育勅語中特ニ心懸ケ居ルハ如何ナル御語ナルカ
- (三)朋友ヲ擇バザルベカラザル理由ヲ擧ゲヨ

▲國語科 (二時間)

(一)一の谷は源平の古戦場にして梶原源太景季は艦の梅に芳名を百歳に傳へ薩摩守忠度はゆきくれての名歌に清譽を死後に殘し無官太夫敦盛は青葉笛に勇猛鬼神を欺く熊谷次郎直實を泣かしめしも皆此地に於てせしなり

以上講讀

(二)復讐 姫路市 兒島高德 吳港 海潮

以上讀方

● 作文

桃の花見に誘はれしに答ふる文

▲ 算術科 (二時間)

(1) $3\frac{10}{15} + 8\frac{3}{25} - 1\frac{1}{5}$

(2) $\frac{3255}{53785} \times \frac{30}{45} + \frac{3}{15}$

(3) 日中ニ於テ塔ノ影ヲ度ルニ二十二尺四寸アリ午後ニ至リ其影ニ倍サシ恰モ塔ノ高サニ倍ニ均シトイフ因テ塔ノ高サ如何

(4) 水銀ノ重量ハ凡ソ清水ノ十四倍トス今水銀三斗八升ノ重サ幾何

(5) 但水一升ハ四百五十匁ノ重量ナリ

(5) $210 + 50 \times 3 = 5.34$

▲ 習字科 (一時間)

(一)鳥丸殿より三條どの

縣立和歌山高等女學校入學試験問題 (三十五年四月)

本科第一學年

▲ 國語科

● 講讀 (二時間)

(一)李白書を匡山に讀む漸く倦みて外に出でしに道に老人の石にあて、斧をするにあひぬこれを問へば針になさむとてするなりといふ李白大に感じて再び書を読むことをつとめて終に其の名をなせり

(二)輕薄 日和よくば 感泣して いざや遊ばむ 勇氣勃勃 騰貴 ほのかに開ゆ 小敵をな侮りそ 貧民に施與して 花の白雲

● 作文 (一時間)

(一) 入學試験の様子を知らする文

▲ 數 學 科

- (1) 織工アリ一日ニ姉ハ九尺七寸妹ハ七尺貳寸ノ布ヲ織ルトイフ姉ガ五丈八尺貳寸織ル間ニ妹ハ如何程ノ布ヲ織ルカ
- (2) 河流ノ速度ハ一時間ニ二十町四間舟夫ノ漕力ハ同時間ニ二里十七町ナリ今順風ニ乗シ此河ヲ上リシ舟夫アリ二時間ニシテ五里進行シタリトイフ一時間ニ進ム風ノ速サ幾許
- (3) 左式ノ最終ノ結果如何
 $(12,307 + 458 - 21) \times 7 \times 100$
- (4) 或數ノ二倍ニ七十八ヲ加フレバ百トナルトイフ或數トハ幾何

▲ 習 字 科 (二時間)

(一) 作文ノ書方ニ依リテ探點ス

本科第二學年

▲ 修 身 科 (一時間)

- (一) 恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ボシ
右ノ聖旨ヲ解釋セヨ
- (二) 子孫タルモノ、其祖先ニ對シテツクスベキ義務ヲノベヨ
- (三) 子等ノ最モ敬慕セル人(古今男女ヲトハズ)ノ行爲ヲ簡單ニアゲ其ノ感ズル所ヲ述ベヨ

▲ 國 語 科

● 講 讀 (二時間)

(一) 一農夫あり兒を携へ出で、麥の熟せりや否やを検す兒問ひて曰くこの麥の穂を見るに或は昂く或は俯す孰か貴きと父兩ながらその穂をぬきてこれに諭して曰く内充實すれば必ず下る、かの昂然として屈することを知らざるもの、如きは皆その未熟なるによりてなりと

(二)辛じて 心もとなし さな歎き給ひる いざとく來れ 伯父 叔母 從弟 さらぬだに 乙女子

▲理科 (二時間)

- (一)植物ノ葉、根、花ハ植物ニトリテ如何ナル用ヲナスカ
- (二)昆蟲類ノ體ノ構造ヲ記セ
- (三)左ノ各項ニ屬スルモノ、名三個ヅ、ヲ舉ゲヨ
 - (イ)葉ヲ食スベキ植物
 - (ロ)根ヲ食スベキ植物
 - (ハ)莖ヲ食スベキ植物
 - (ニ)種子ヲ食スベキ植物
- (四)左ニ示ス動物ヲ有脊動物ト無脊動物トニ分類セヨ

いか うなぎ かへる とかげ ねすみ すゝめ さなだむし かめ てふ はまぐり

▲數學科 (二時間)

- (1) 河流ノ速度ハ一時間ニ二十町四間舟夫の漕力ハ一時間ニ二里十七町ナリ今順風ニ乗シ此河ヲ上リシ舟夫二時間ニシテ五里進行シタリトイフ一時間ニ進ム風ノ速サ幾許
 - (2) 十行十三字詰九十八頁(餘白ナシ)ノ書物ヲ十五行二十八字詰ニ書キ更フルトキハ幾頁トナルカ又最終ノ頁ノ餘白ハ幾字分アルカ
 - (3) 金八圓ヲ持テ木綿縞六反ヲ買ハントセシニ木綿一反半ノ價ト外二十錢不足シタリトイフ此木綿一反ノ價何程ナルカ
 - (4) 二本ノ杭ノ間四十八間ナリ此間ニ一間ヅ、隔テ又杭ヲ樹テ杭ト杭トノ間ニ五本ヅツ杉苗ヲ植付ントス杭杉各幾本ヅ、ヲ要スルカ
- (注意)右四間トモ算式ト答トヲ要ス

▲地理科 (一時間)

- (一)横須賀 足尾 長崎 馬關 淺間山 高野山ハ各何處ニアリテ何ヲ以テ名高キカ

- (二)利根川ニ就テ知レル所ヲ記セ
- (三)我國ニ於テ生糸ノ盛ニ産スル地方、有名ナル米ノ産地各三ヶ所及樟腦ヲ多量ニ出ス地方ヲ問フ

▲國語科

●作文 (一時間)

(一)櫻

右記事文體にて記すべし

▲歴史科 (一時間)

- (一)藤原鎌足ノ功績ニツキテ知レル所ヲ述ベヨ
- (二)佛教ノ傳來セシ時ノ有様如何
- (三)左ノ人々ノ略傳ヲ問フ

空海 坂上田村麿 紫式部

▲習字科 (一時間)

(一)言忠信行篤敬

▲裁縫科 (二時間)

(一)持ち來ル用布ヲ以テ左圖ノ如ク裁タシメ一ツ身袷片袖ヲ縫ハシム
仕立寸法

袖丈九寸 袖巾三寸九分

但瀾袖ニシテ(左右)ノ區別ナシ

國ノ方裁

10,0

10,0

袖	袷	袷	表
八	四	四	七

尋常小學校正教員檢定試驗問題 (三十四年四月)

▲算術科

●筆算

- (1) 米商アリ金一千五百圓ニテ米若干石ヲ買ヒ入レ其後米價騰貴シテ一圓ニ付三升高ク賣リシニ五百圓ノ益アリシト云フ此米ノ總量幾何ナリヤ
- (2) 長四十四町ノ圓埒ニ於テ三騎同點ヨリ發シ同方向ニ駛馳スルアリ各分時ニ甲ハ三町四十間乙ハ二町五十六間丙ハ二町十二間ヲ進ムト云フ此三騎再ビ原處ニ會スル迄ニハ幾分時ヲ要スルカ
- (3) 或人其三子ニ土地ヲ分配スルニ末子ニハ十段二畝十五歩ヲ與ヘ次子ニハ全土地ノ八分ノ三ヲ與ヘ長子ニハ次末兩子所得ノ合併高ヲ與ヘリト云フ長次兩子ノ所得各幾何ナルカ
- (4) 時計ノ分針ト時計トガ第三時ノ後相重ナルハ何時ヲ示ストキナルカ
- (5) 男工七人若クハ女工十一人ニテ七十七日間ニナスベキ事業ヲ男工五人女工八人ニテ協ガスレバ幾日ニシテ成ルベキカ

▲國語科

●講讀

- (一) 文山隱遯の後も、猶其の素を忘れず、常に劍を撫し、枕頭三尺劍瓶裏一枝梅など歌ひ、又腰間無寸鐵胸裏揮三軍など昔忍ぶの氣を吐きたり
- (二) 義朝重代の兵たりしうへ、保元の勳功すてられがたくはべりしに、父のくびをきらせたりしこと、大なるとがなり、古今もきかず、和漢にもためしなし、勳功に申かはるともみづからしりぞくとも、などか父をすてたすくる道なかるべき、名行かけはてにければいかでかつひに其の身を全くすべき、ほろびぬることは天理なり
- (三) 播磨海せとのゆふ日のすす晴れて、そらよりかへるおきの釣りふね

▲教科

●教育原理

- (一) 歸納推理及演繹推理ノ作用ヲ説明セヨ
- (二) 兒童ノ普通ニ有スル諸性質ヲ舉ケ併セテ之ヲ教育上ニ利用スル方法ヲ陳ベヨ
- (三) 積極及消極ノ兩方面ニ於ケル體育ノ方法ヲ實例ヲ舉ゲテ説明セヨ

● 教授法

- (一) 修身科教授ノ要旨ヲ舉ゲテ之ヲ説明セヨ
- (二) 國語科ニ於ケル綴リ方訂正ノ方法如何
- (三) 初テ除法ヲ教授スルトキノ教案ヲ作レ

● 管理法

- (一) 學級ヲ編制スルニ當リ男女ヲ區別スルコトノ利害及其法令上ノ規定如何
- (二) 尋常小學校第二學年兒童ノ教授時間割表ヲ作レ
- (三) 兒童ヲ褒賞スルニ當リ教師ノ注意スベキ條件ヲ舉ゲヨ

● 汎論

- (一) 教授ノ目的如何
- (二) 教授排列ニ關シテ循環法ト直進法トノ利害如何
- (三) 教授ハ三階段若クハ五階段ノ順序ヲ履マサルヘカラズト云フ如何ナル理由アルカ

▲ 算術科

● 珠算

- (1) $7,63 \div 68,2$ ヲ小數四位迄求メ以下四捨五入セヨ
小數除法ニ於ケル商ノ命位法ヲ記述セヨ
- (2) $31 \times 41 \times 51$ ノ値ヲ求ム
小數乘法ニ於ケル積ノ命位ヲ起述セヨ
- (3) 工夫ノ日給ハ米價ノ高下ニ比例ス米一石ノ價九圓ナリシトキ工夫一人ノ日給四十二錢ナリ若シ米價一石ニ付三圓騰貴スレバ工夫ノ日給幾何ニ定ムベキカ
- (4) $(96 \div 28 \div 30) + 23$ ノ値ヲ求ム
- (5) $\{450 + (24 - 12) \times 5\} + \{(90 \div 6) + (3 \times 11 - 18)\}$ ノ値ヲ求ム
- (6) 延長三百二十二哩ノ鐵道ヲ毎時十四哩ノ速力ニテ發車シテ進行セシ汽車十五時間

ヲ經タルトキ故障ヲ生シ爾後速力ヲ減シテ進行シ豫定ノ時期ヨリ六時間後レテ着
車シタリト云フ因テ問フ後ノ速力ハ毎時幾哩カ
(7) 六五八十二、八四天作五、七一下加三ノ意義ヲ説明セヨ

▲ 圖 畫 科

梅ノ圖

▲ 習 字 科

(一) 先難而後獲

右楷行草三體三葉ニ書スヘシ

(二) 敷島ヤマトコトバナ海ニシテ、ヒロヒシ玉ハミカカレニケリ

右楷行書

▲ 歷 史 科

(一) 唐太宗ノ治ヲ述ベヨ

(二) 阿輸迦王ノ布教ヲ問フ

(三) 東羅馬ノ滅亡ヲ問フ

▲ 修 身 科

(一) 教育勅語中ニ在ル國體ノ精華トイフコトヲ詳ニ説明セヨ

(二) 兒童ノ直ニ實行セラルベキ公德ノ目ヲ列記セヨ

(三) 論語曰信近於義言可復也恭近於禮遠恥辱也

右詳ニ解釋スヘシ

▲ 作 文 科

● 書 牘 文

公德養成ニツキ注意スヘキ件ヲ問ハレシニ答ル文

● 近 體 文

廉恥ヲ重ズル說

▲ 博 物 科

(一) 植物葉及根ノ効用ヲ問フ

- (一) 牛ト馬ト異ル要點ヲ示セ
- (二) 人體呼吸器ノ狀態并ニ養生法ヲ説明セヨ
- (三) 蠶ノ卵ヨリ蛾ニ至ルマテ其變態ノ模樣ヲ記述スヘシ
- (四) 石炭ノ種類ヲ舉ゲテ其良否ヲ示セ

▲理科

- (一) 空氣ノ組成分及其性質如何
- (二) 寒暖計ノ製法及攝氏寒暖計ト華氏寒暖計トノ區別如何
- (三) 次ノ物質ニツキテ知ル處ヲ記セ
 - (イ) 澱粉 (ロ) 蟻 (ハ) 硝子

▲文法

- (一) 左ノ詞ヲハタラカセヨ
 - たゆ(絶) むくゆ(報) くらふ(食) とづ(閉) く(來)
- (二) 左ノ詞ニ對スル他動若シクハ自動ノ詞ヲ舉ゲヨ
 - はじむ(始) けがる(汚) かわく(乾) おぼる(溺) おどす(威)
 - はじむ(始) けがる(汚) かわく(乾) おぼる(溺) おどす(威)

- (三) 時ノ助動詞ヲ舉ゲテハタラカセヨ
- (四) 左ノ詞ノ假名遣ノ正否ヲ判別セヨ
 - とほる(通) たほる(倒) かほる(薰) しほる(葉) まほす(申)

尋常小學校准教員檢定試驗問題 (三十四年四月)

▲歴史科

- (一) 貞觀ノ治ヲ問フ
- (二) 島原ノ亂ヲ問フ
- (三) 那賀郡ノ略圖ヲ描ケ
- (四) 瀬戸内海ニ沿ヘル鹽ノ產地ヲ舉ゲヨ

▲算術科

●珠算

- (1) $(0.441 + 21) + 56$ ノ値ヲ求ム
- (2) $8.41 \frac{1}{2} \times 42$ ノ値ヲ求ム
- (3) 一石ノ價六圓ノ麥三十六石ト一石ノ價八圓ノ大豆二十五石トヲ以テ一石ノ價十三圓ノ米ニ換フルトキハ其量幾何ヲ得ベキカ
- (4) $12,415 + 6,307 + 8,1738 + 6947$ + 5 || ノ値ヲ求ム
- (5) 東西ノ二縣相距ルコト六十四里二十七町ナリ今此二縣ヨリ同時ニ使ヲ發シ互ニ他ノ縣ニ遣ハス其二使途上ニ出會ヒテ其行程ヲ較フレバ五里十八町ノ差アリト云フ因テ問フ二人ノ行程幾何ナルカ
- (6) $12,34 \times 2,4$ ノ値ヲ求ム

● 筆算

- (1) 或人其三子ニ一萬五千圓ノ資産ヲ分配スルニ長子ニハ次末兩子所得ノ合併高ヲ與ヘ次子ノ所得ハ末子ノ所得ヨリ五百圓多シト云フ三子ノ所得各幾何ナルヤ
- (2) 六百七十五、一千〇五十或ハ四千三百六十八ニテ除シ何レモ三十二ナル剩餘ヲ生

スヘキ最小數ハ幾何ナルカ

- (3) 汽車アリ三百六十五哩進行スルニ二百三十哩行キテ汽關ヲ損シ其速力六分ノ一ヲ減シテ進行セシニ豫定ノ時刻ヨリ五十四分後レテ先地ニ達セリト云フ毎時ニ於ケル原速力幾何ナルカ
- (4) 時計ノ分針ト時計トガ第一時ノ後相重ナルハ何時ヲ示ストキナルカ
- (5) 壁ヲ塗ルニ十二人ノ左官ガ三十日ニテ其半分ヲ仕上タリ然ラハ更ニ三人ヲ増サハ殘業ハ幾日ニテ仕上クヘキカ

▲ 作文科

● 書牘文

(一) 某氏著教育書ヲ贈ラレシニ謝スル文

● 近體文

光陰ヲ惜ム

▲ 習字科

先難而後獲

右楷行草三體三葉書スヘシ

▲修身科

- (一) 教育勅語中ニ在ル國體ノ精華トイフコトヲ説明セヨ
- (二) 兄弟ノ友愛ヲ始終全クスルニハ如何シテ可ナルヤ

▲教科

- (一) 教授ハ生徒ヲ活動セシメザルベカラズトハ如何ナル意味カ又其活動セシムル方法如何
- (二) 兒童懲罰ノ種類及其適用上ノ注意如何
- (三) 尋常三年又ハ四年ニ於ケル讀本ノ讀方教授ノ順序如何
- (四) 心算ノ目的及其練習上ノ注意如何

▲國語科

●講讀

- (一) 是より王政日に新に、國運月に隆に、教育、兵備、殖産興業を始めとして、百般の文物制度燦然として備具し、前古未曾有の昌代となれり
- (二) 新緑のほどは、日もますます永く、心もいよ／＼長閑にて、あたらさを考ふる心もなく、日數あまたに景物を弄ふべし
- (三) しき島の大和ごゝろを人とはゞ、朝日に匂ふやまざくら花
- (四) 國語中詞の中下に於て「ヒ」の假名を用ふべきもの十五を擧げよ

▲裁縫科

●教授法

- (一) 裁縫科教授ノ目的
- (二) 初學年ノ兒童ニ對シテ針箱針用布ヲ如何ニトリ扱ハシムベキカ
- (三) 裁縫教授ハ必ず一齊的ナルベシトイヘドモマタ個人的教授モ時々用ヒザルベカラズ何故カ
- (四) 尋常科第四學年ノ兒童ニ襦袢ヲ教フル順序方法ヲ問フ

●裁方

(一) 與フル處ノ用紙ニテ男袷羽織ノ表ヲタツベシ(實物ノ二分ノ一)但袖丈一尺四寸ノ
仕上

(二) 二尺巾ノ布ヲ以テ女兒ノ袴ヲツクランニハ幾尺ヲ要スルカ
積リ方及裁方ヲ圖ニテ表ハセ

但紐下丈一尺九寸

(三) 大巾片面物ニテ三ツ身ヲ裁ツニ袖丈一尺三寸五分身丈二尺七寸ニセバ其用布幾尺
ヲ要スルカ

積リ方裁方ヲ圖解セヨ

●縫方

(一) 與フル切ニテ補綴スベシ

(二) 與フル布ニテ本身袷ノ上前半身ヲヌフベシ
仕立上寸法 但スソ綿

一、袖丈 七寸五分

一、袖巾 四寸

一、袖口 三寸五分

一、ヲクビ下リ 三寸

一、フキ 三分

其他普通

尋常小學校裁縫科正教員檢定試験問題 (三十四年四月)

▲教授法

(一) 裁縫教授ノ際兒童ノ姿勢ハ如何ニシテ可ナルカ

(二) 針ノ持方并ニ其取扱方ヲ問フ

▲裁方

(一) 與フル所ノ用紙ニテ男袷羽織ノ表ヲ裁ツベシ

但シ片面物ニテ袖丈一尺四寸ノ縫上トス

▲積リ方

(一)今裁チタル羽織ノ裏地ノ裁チ方并ニ積リ方ヲ圖解スベシ

▲縫方

(一)與フルトコロノ用布ニテ(ホウラク)頭巾ヲ縫ヘ

(二)與フルトコロノ用布ニテ足袋ヲ縫フベシ

第二回小學校教員檢定試驗問題 (三十四年十一月)

小學校本科正教員

▲物理化學科

●物理

(一)空氣ノ抵抗ナケレバ輕キ物モ重キモノモ同ジ速サヲ以テ落ツルハ何故ナルカ

(二)零度ニ於テ長サ五尺六寸ノ銅ノ棒ヲ百度ニ熱スルトキハ其長サ何程トナルカ

但銅ノ膨脹率ハ〇、〇〇〇〇一七トス

(三)凸レンズヲ距ル種々ノ位置ニ物體ヲ置クトキニ生ズル像ノ位置及大サノ變化如何

(四)電版術トハ何ゾ之ヲ説明セヨ

●化學

(一)分子量及原子量ノ意義ヲ説明セヨ

(二)鹽酸ヲ製スベキ裝置及實驗上ノ注意ヲ述ベ併セテ鹽酸ガ次ノ二物質ニ對スル反應

ヲ示セ

(イ)亞鉛 (ロ)大理石

(三)摺附木ノ製法及其發火スル理由ヲ問フ

(四)蛋白質ノ所在性質及組成ヲ問フ

●植物動物礦物

(一)油菜ト松トニ就イテ知ルトコロヲ述ベヨ并セテ被子植物ト裸子植物トノ區別ノ要

點ヲ述ベヨ

- (一) 維管束ノ構造ト作用トヲ問フ
- (二) したとすぎなトヲ比較セヨ
- (三) 昆虫トえびトクルトノ口器ヲ比較セヨ
- (四) 何故ニ蛙ヲハ爬虫類中ニ入レザルカ
- (五) 魚類ノ鰓ニ就キテ知ルトコロヲ述ベヨ
- (六) 石灰石ノ産出ノ状態、種類及ビ効用ニ就イテ述ベヨ
- (七) 花崗岩ト片岩トヲ比較セヨ

▲代 數 學

- (1) $a^2 - 3b^2 - c^2 - 2ab + 4bc$ ヲ因數ニ分解セヨ
- (2) $\frac{s-1}{s+1} + \frac{s+5}{s+7} = \frac{s+1}{s+3} + \frac{s+3}{s+5}$ ノ根ヲ求ム
- (3) $\frac{a}{b} = \frac{c}{d}$ ナルトキ $\frac{pa^2+qab+rb^2}{la^2+mab+nb^2} = \frac{pc^2+qcd+rd^2}{bc^2+med+nd^2}$ ナルコトヲ證セヨ
- (4) $x^2+5y^2=84$
 $3x^2+17xy-y^2=184$ 上ノ聯立方程式ヲ解ケ

- (5) 二列車アリ三十六哩ノ鐵道ヲ直行スルニ一ツハ毎時ノ速サ他ノ一ヨリ十五哩速キ故此距離ヲ十二分速ク着セリト云フ問各列車ノ平均速幾何

▲簿 記

- (一) 價トハ如何又其分類ニ付テ知レル所ヲ記セ
- (二) 元帳結算ノ順序ヲ述ベヨ
- (三) 仕譯帳ヲ作り左ノ取引ヲ仕譯セヨ
 明治三十四年十一月八日 周防屋へ商品三千圓ノモノヲ賣渡シ代金トシテ同人振出シ約束手形及正金一千圓受取ル
 同月九日 長門屋へ貸金ニ對シ第十八銀行小切手ニテ五百二十五圓ヲ受取ル依テ右切手ヲ同銀行へ堂卒預金トシテ預ケ込ム
 同月十日 曩ニ越後屋ヨリ掛ニテ買入レタル商品ノ内破損品發見ニ付之ヲ惣代價六百五十圓ノ内ヨリ二十六圓ノ直引ヲナシ六百二十四圓ヲ仕拂フ
- (四) 關算三類ノ區別及之ニ伴フ結果ヲ列舉セヨ

(五)簿記法上ニ於テ資本主ト商店ノ關係如何

▲幾何

- (一)圓ノ弦ヲ内分或ハ外分スルトキハ二ツノ分ノ包ム矩形ハ半徑ノ上ノ正方形ト分點ヲ圓ノ中心ト結ビ付クル直線上ノ正方形トノ差ニ等シ
- (二)三角形ノ頂角ヲ二等分スル直線ハ底邊ヲ他ノ二ツノ邊ノ比ニ内分シ頂角ニ隣ル外角ヲ二等分スル直線ハ底邊ヲ同ジ比ニ外分ス
- (三)二ツノ圓ノ交點ヲ過リ一ツノ直線ヲ各ノ圓カ其カラ切り取ル弦ガ相等シキヤウニ引クコトヲ求ム

▲國語科

●講讀

(一)左ノ文ニツキ括弧ノシル所ヲ解釋スヘシ

初め左大臣家竹千代殿と申し奉り、大納言殿國千代殿と申せし時、御父將軍家國千代殿を愛せさせ給ふこと深くして、世繼の君になてんと思し見し定めけるは、

駿河の御所關東にならせ給ひて、將軍家に嫡子退け少子立てんことは天下亂るべき基なりと、さまざま御教訓あり(竹千代殿の幼き御心にも我故なく退けられんことは、父の世のために長きそしりを残させ給はん事かなしきことなりと思召され、御耳のうときやうになされしかど、將軍家も大御所の仰おかれしことも思召し捨てがたくて、終に竹千代殿を御世繼となさせ給ふ、これ故に御兄弟の中も平かならず、大納言殿終に失はれ給ひぬと、世の人皆いひも傳へ、筆にも記せり。うけ難き御事なり

(二)左ノ文句及ビ歌に解釋ヲ與ヘヨ

(イ)いまだ程朱の藩籬だも窺はずして、己が心を先たて、にはかに大賢を議す

(ロ)吉凶は糾へる繩のごとく、慶吊は踵を門に接ふ

●作文

(一)余ノ經驗

小學教育ニ關スル事柄トシテ最モ面白ク價值多キモノニツキテ記スベシ

(二)一兒童ヲ留置ノ罰ニ處シタル事ヲ其ノ兒童ノ父兄ニシラスル文

●文法作文ノ中作文

(一)左ノ漢字ヲ示セ

鑄造 稠密 富饒 島嶼 熱鬧

(二)左ノ假遣ノ正否ヲ判別シテ訂正セヨ

(1) しずむ(沈) けずむ(反跳) ひずむ(歪) なずむ(泥)うじむし(蛆) すじめ
(筋目) けじめ(分)

(2) はしを越へ つゝみをつとう て、いッ たら みちに まよふ
て、いくえが しれ なく なツた など いひあえり

(三)左ノ文ノ詞ノ種類ヲワカテ

ひとたび 支那に 渡航して その術を學ばむと思ひし
に、さるべき 機會なく て やみぬ

(四)常態愛動態令動態(役動トモ云フ)ノ三態ヲ例ニ由テ指示セヨ

▲修身科

(一)我國人ハ特ニ祖先崇敬ノ心得ヲ體セザルベカラザル所以如何

(二)親族交際上心得ベキ條項ヲ舉ゲヨ

(三)孟子曰富貴不能淫貧賤不能移威武不能屈此之謂大丈夫

右詳ニ解釋スベシ

▲習字

義勇奉公

右楷行草三體用紙一葉ニ書スベシ

白浪モヨセクルカタニ還ルナリ、人ヲナニハノアシト思フナ

右行書平假名ニテ用紙一葉ニ書スベシ

▲地文科

(一)日本中央標準時ノ規定如何又之ヲ選定セシ理由ヲ問フ

(二)海嘯ノ起因ヲ説明セヨ

- (三) 日本ニ於テハ冬期ニ北西風多ク夏期ニ南東風多キ理由如何
- (四) 或同時刻(例ヘバ十一月八日)ニ於イテ世界各地ニ寒暖ノ差アル原因ノ主ナルモノヲ問フ

▲ 教 育 學

- (一) 寺小屋ノ教育法ヲ述ベヨ
- (二) ロックノ教育說ヲ舉ゲヨ

小學校正教員(女子)

▲ 地 理 科

- (一) 例ヲ舉ゲテ雨及河水ノ削磨作用ヲ設ケ
- (二) 火山、温泉ヲ解説スベシ
- (三) 水成岩ト火成岩トノ差別ヲ問フ

▲ 外 國 史

- (一) 唐ノ二後ノ福ノ顛末
- (二) 元明ノ世我國トノ關係
- (三) 左ノ事件ノ年代

東羅馬滅亡 ノエニシアノ最盛 北米合衆國獨立 十字軍 地動說ノ創唱

- (四) 支那西洋ノ各ニ實例ヲ取リテ革命トイフコトヲ說ケリ

▲ 修 身 科

- (一) 公共心ノ必要ヲ述ベヨ
- (二) 婦徳中ニ就テ最モ重要ト思フ條項ヲ舉ゲヨ
- (三) 人ヲ響應スル時主婦タル者ノ心得ベキ條件ヲ詳ニ述ベヨ

▲ 幾 何 學

- (一) 平行四邊形ノ相對スル邊及ビ相對スル角ハ相等シ
- (二) 與ヘタル長サノ半徑ヲ有スル圓周ニテ與ヘラレタル角BOAノ二ツノ邊OA OBニ切スルモノヲ作ルコトヲ求ム

(三) 三角形ノ内角ノ和ハ二直角ニ等シ

▲ 教 育 學

(一) 教育ノ目的

(二) 教授ト訓練トノ相違及ビ關係

(三) 男女(兒童)ノ教育ノ異動ヲ述ベヨ

(四) 我國維新以前ノ教育ノ狀況

▲ 理 科

(一) 夏日涼ヲ取ル爲ニ水ヲ撒ク理如何

(二) 炭酸ソーダノ洗滌作用ヲ問フ

(三) 水ノ電氣分解ヲ説明セヨ

▲ 國 語 科

(一) 習 字

義勇奉公

右楷行草三體用紙一葉ニ書スベシ

白浪モヨセケルカタニ還ルナリ、人ヲナニハノアシト思フナ

右行草平假名ニテ用紙一葉ニ書スベシ

● 講 讀

(一) 左ノ文ヲ解釋スベシ

故右府岩倉公は摺紳有職の家に生ひ立ちたまひしかど夙に大勢を達觀して王政に公武の別なきことを看破し中興の實を擧ぐるために神武の古に復るといふ一大義を唱へたまへるはこれぞ明治の朝廷に人ありとは申すべき

(二) 左ノ文ヲ解釋スベシ

かくのぼる人々の中に京より下りし時にみな人子どもなかりきいたれりし國にてぞ子うめるものどもありあへるみな人船のとまる所に子を抱きつゝおりとぼるりすこれを見てむかしの子の母かなしきにたへずして
なかりしもありつゝかへる人の子を

ありしもなくてくるが悲しき

といひてぞ泣きける父もこれをきいていかゞあらむ

● 作文

(一) 余ノ経験

小學教育ニ關スル事柄ニシテ最モ面白ク最モ價値多キモノニツキテ記スベシ

(二) 一兒童ヲ留置ノ罰ニ處シタル事ヲ其ノ兒童ノ父兄ニシラスル書牘

● 文法

(一) 左ノ漢字音ヲ示セ

鑄造 稠密 富饒 島嶼 熱鬧

(二) 左ノ假名遣ノ正否ヲ判別シテ訂正セヨ

(1) しずむ(沈) はずむ(反跳) ひずむ(歪) なずむ(泥) うじむし(蛆) すじ

め(筋目) けちめ(分)

(2) はしを越へ、つゝみをつとうて、いつたら、みちにまよふ

て、いくえがしれなく なつた なぞ いひあえり

(三) 左ノ文ノ詞ノ種類ヲワカテ

今日 は 雨 ふりしきり 風 さへ 烈しければ 道 の すゝみ おそし

● 假名遣

(一) 左ノ漢字ニ讀方ヲツケヨ

燦爛 熟練 相應 百科 劫掠

(二) 左ノ假名ニ誤アラバ正セ

おしえ(教) もとの(基) 思い出づれば 花をたをる(手折) おをさめ(御納)

下さいませ

小學校准教員

▲ 國語科

● 講讀

(一)又いと近く観音寺といふ寺ありければ、鐘のこゑをきこしめして、作らせ給へる詩ぞかし

都府樓纒看瓦色 観音寺只聽鐘聲

これは文集の白居易の遺愛寺鐘欵枕聽香爐峯雪撥簾看といふにはまさるゝまに作らしめ給へりところ昔の博士どもは申しつれ

(二)大井川を見渡したれば、遙々と廣き河原に、一筋ならず流れ分れたる河瀬どもとかく入りちがひたるに似たり、中々に渡りて、見人よりもよそめ面白く覺ゆれば、かの紅葉亂れて流れけん龍田川ならねどもしばしやすらはる

以上二文解釋スベシ

(三)孔子ハ自ラ勉強家ト信シケルニヤ嘗テ「余ハ聖人ニ非ズ余ハ學ビテ厭ハズ教ヘテ倦マザルモノナリ」ト曰ヒス「余ハ生マレナガラニシテ知レルモノニ非ズ、古ヲ好ミ敏クシテ智識ヲ求メタルモノナリ」ト曰ヘリ

右ノ文ヲ小學高等第一年生ニ了解セシムルツモリニテ講義スベシ答案ハ話語ニ

テ記スベシ

▲理科

(一)ポンプノ構造及作用ヲ問フ
(二)化學的變化ト物理的變化トノ區別如何

▲習字

進廣公益

右楷行草三體用紙三葉ニ書スベシ

尋常小學校本科正教員檢定試驗問題

▲地理科

(一)琵琶湖ガ淀川ニ及ボス影響ヲ記セ
(二)富士川ノ急流ナル所以ヲ説明スベシ
(三)我國ノ外國貿易ノ有様ヲ記セ

(四)歐羅巴ニ於ケル我が條約國並ニ公使館所在地ヲ列舉スベシ

▲國語科

●講讀

(一)左ノ文ヲ就キテ尋常第三學年兒童ノ爲ニ話方ノ模範ヲ示セ

あはれ 我等國民 は かくばかり 大いなる 皇恩 の 下に 月日 を
おくれり され ば いかにしてか 其の 萬分 の 一を だに むくい
奉る べき たゞ 身を 修め 業を はげみて 君の 御心を
蒙んじ たてまつる べき なり

(二)左ノ語句ニ漢字ヲ入レヨ

- (1) ショクサン ヲーギョー
- (2) シンチ パンシヨー
- (4) アンネイ チツジヨノ ポーガイ
- (4) トキマサ ニキョージユ ノ ジユンビ スデ ニナリ テ タクジヨ

ー ニ ハ キカイ ヒョーホン ヲトゴトク ハイレツ セ ラレ タリ
シ ガ イツセイ ニ テントー シ テ ホトンド マツタク フンサ
イ セリ

●文法作文ノ中文法

(一)左ノ漢字ノ音ヲ示セ

道路 俗論 富饒 稠密 熱鬧

(二)左ノ假名遣ノ正否ヲ判別シテ之ヲ訂正セヨ

- (1) あわ(粟) あわ(泡) くわ(鐵) しわ(鐵) とをる(通) あをる(翻)
- (2) きしをつたいてかわらへいで、ふねをやとふてひらつてきた

(三)左ノ文ノ種類ヲワカテ

友人の父は、此頃その子に、巨額の財産を譲りたれども、また隠宅へは、ひきうつらざる様子なり

常尋小學校本科正教員檢定試験問題 (三十四年十月)

▲國語科

●講讀(第一)

(一)山柴水明 拮据 鞅掌 依稀 遺烈 拯難

右ノ熟語ヲ詳解シ又傍柱ヲ施シタル者ニハ字音ヲ附セヨ

(二)けふは朝まだきより天氣いとよし、うらくとさし出でたる朝日の影、えんなるに、横霞山の中らに、たなびきて、峯にも尾にも、梅の白ふ匂ひ出でたる様、繪のやうなり

右詳解セヨ

●講讀(第二)

(一)左ノ文ニ就キテ尋常第三學年兒童ノ爲ニ話方ノ模範ヲ示セ

あはれ 我等國民 は かくばかり 大いなる 皇恩 の 下に 月日 を

おくれり され ば いかにしてか 其の 萬分の 一を だに むくい 奉
る べき たゞ 身を 修め 業 を はげみ て 君 の 御心を 安んじ
たてまつる べき なり

(二)左ノ語句ニ漢字ヲ入レヨ

- (1) ショクサンコージョー
- (2) シンラバンシヨ
- (3) アンネイチツジヨノボーガイ
- (4) トキ マサ ニ キョージュ ノ ジュンピ スデ ニ ナリテ タクジヨ
ー ニハ キカイ ヒヨホン コトゴトク ハイレツ セ ラレ タリ
シ ガ イツセイ ニ テントー シ テ ホトンド マツタク フンサイ
セリ

▲歴史科

(一)大寶令ノ官制ヲ述ベヨ

- (二) 戰國時代ノ一向一揆ニツキ知ルトコロヲ述ベヨ
- (三) 徳川幕府ノ蝦夷經營ヲ問フ
- (四) 可美眞手命 足利基氏二氏ノ事績ヲ畧述セヨ

▲算術科

●筆算

- (1) 慈善會アリ其會員男女合シテ二百八十名ニシテ一人毎ニ男子ハ五圓女子ハ三圓ヲ醸出シテ貧民二千四百二十八ヲ救恤セシニ一民毎ニ五十錢ツ、施スヲ得タリト云フ男女會員各幾人ナルカ
- (2) 甲乙兩人各其子ノ學資トシテ甲ハ千圓乙ハ九百圓ヲ備ヘ置キ同年ヨリ各之ヲ支出セルニ甲ハ毎年百四十圓乙ハ毎年百二十圓ナリト云フ然ラハ幾年ノ後兩人ノ殘金等シクナルカ
- (3) 酒アリ醇酒ト水トヲ混合セルモノニシテ水量ハ醇酒量ノ十一分ノ二ナリシガ更ニ水三斗四升ヲ加ヘシニ水量ハ醇酒量ノ八分ノ三トナレリト云フ最初ノ總量幾何ナルカ

ルカ

- (4) 男九人女五人ニテ二十日間ニテ成ヌベキ工事アリ今男三人女七人ニテ成セバ幾日ヲ要スルカ但男三人ノ業ハ女四人ノ業ニ等シト云フ

●珠算

- (1) $348,66 - 7,63 \times 41 + 1,998 \div 66,3 - 44,1$ ノ値ヲ求ムベシ
- (2) 軍艦アリ毎時ノ速力十八哩ナリ此軍艦甲港ヨリ乙港ノ巡航セシニ三晝夜ヲ費セリト云フ甲乙兩港ノ距離ヲ陸軍法ニテ命ズレバ幾何ナルカ但一哩ハ十七町ナリ
- (3) 圓形ノ馬場アリ其周圍ノ長五町三十七間三尺ナルトキハ之ヲ幾回巡ラレバ其行程三里二十八町トナル

▲物理化學科

- (一) 夜間草葉ニ露ノ生ズル理幾何
- (二) 金箔驗電器ノ構造及之ニ電氣ヲ與フルトキハ金箔ノ開ク理ヲ説明セヨ
- (三) 植物ノ酸味ハ如何ナル物質ニヨルカ

● 博物學ノ部

- (一) 及びトイカトニ就キ外部ヨリ目撃シ得ル範圍内ニ於イテ其ノ構造ヲ説明セヨ
- (二) 大麥トすぎなトニ就キ其ノ大略ヲ説明セヨ
- (三) 人ノ消化液ノ種類ト作用トヲ問フ

● 習字

義勇奉公

右楷行草三體用紙一葉ニ書スヘシ

白浪モヨセクルカタニ還ルナリ、人ヲナニハノアシト思フナ

- (一) 右行書平假名ニテ用紙一葉ニ書スベシ

● 作文

(一) 余ノ樂シミ

(二) 各自樂シミトスルトコロノコトニツキテ述ブベシ

(三) 學校教訓ノ主旨ニ違ヘル躰方ヲ行ヘル父兄ニ與フル書牘

● 文法

(一) 左ノ漢字ノ音ヲ示セ

道路 俗論 富饒 稠密 熱鬧

(二) 左ノ假名遣ノ正否ヲ判別シテ之ヲ訂正セヨ

(1) あわ(粟) あわ(泡) くわ(鐵) しわ(鐵) とをる(通) あをる(蘇)

(2) きしを つたい て かわら へいだ、ふねを やとふ て ひらッ

てきた

(三) 左ノ文ノ詞ノ種類ヲワカテ

友人の父は、此頃その子に巨額の財産を譲りたれ

どもまた隠宅へはひきうつらざる様子なり

▲ 教科

(一) 身體ノ鍛鍊トハ如何

(二) 幼者ノ感情及ビ其ノ教育法

(三) 實物教授ノ必要ナル所以
(四) 賞罰ノ種類及ビ之ヲ施スニツキテ注意スベキ要件ヲ列舉セヨ

● 教授管理法

- (一) 教授段階ノ取捨適用如何
- (二) 讀本ノ意義ヲ教授スル方法如何
- (三) 始メテ九トノヲ教ヲ教ヌル時ノ教授一時間分ヲ作レ
- (四) 兒童ノ平素成績考查ノ要條ヲ述ベヨ
- (五) 黑板ノ用材廣狹及塗方如何

尋常小學校准教員檢定試驗問題 (三十四年十月)

▲ 算術科

● 筆算

- (1) $(84694 \times 125) + (3449600 + 5600)$ ノ値ヲ求ム

- (2) 甲乙兩地相距ルコト三百四十里太郎ハ甲ヨリ乙ヘ向ケ毎日十三里宛行キ次郎ハ乙ヨリ甲ヘ向ケ毎日里十一半宛行クトイフ兩人同ジ日ノ朝同時ニ發程シタリトスルトキハ幾日目ニ出會フベキカ

- (3) 七人ノ大工ガ一日八時間宛働キテ十五日間ニ仕上グルコトノ出來ル仕事ヲ十二人ノ大工ガ一日二十時間宛働クトキハ幾日ヲ要スルカ
- (4) $(87 + 97 - 77) + (98 + 75 - 85)$ ノ値ヲ求ム

● 珠算

- (1) 四ノ段ノ割聲ヲ記シ且其意義ヲ説明セヨ
- (2) $114240 \div 238$ ノ値ヲ求ム
- (3) 一桶ニ付三十二斤入ノ砂糖二十八桶買ヘリ一斤ノ價十二錢五厘ナルトキ其總價何程ナルカ
- (4) (2385×3412) ノ値ヲ求ム

▲ 歴史科

(一)後三條天皇ノ御事蹟ヲ述ベヨ

(二)天日嗣 八幡船 切支丹宗

右假名ヲ附シ之ヲ畧解セヨ

▲地理科

(一)本州北海道四國九州臺灣以上五島西配列ノ模様ヲ畧圖ニテ記セ

(二)日本海沿岸ニ良港ノ乏シキ理由ヲ説明スベシ

(三)我國ニ於ケル重要輸出輸入兩品目ヲ列舉セヨ

▲修身科

(一)兄弟ノ友愛ヲ始終全クスルニハ如何ナル心得ヲ要スベキカ

(二)兵役納税ハ國民ノ義務ナル所以ヲ説明セヨ

(三)職務ヲ盡スニ當リ心得ベキ必要條件ヲ問フ

▲國語科

●講讀(第一)

(一)大義名分 從容 矛盾 出藍 平易

右ノ熟語ヲ解釋シ又傍柱ヲ施シタル者ニハ字音ヲ附セヨ

(二)咲き匂ふ梅ばかりだに、あかなくに、こよひくまなき月の瀬のさと

右解釋セヨ

●講讀(第二)

(一)左ノ文ニ就キテ尋常第三學年兒童ノ爲ニ話方ノ模様ヲ示セ

食物ニ甘キアヂヲツクルハ 砂糖 ナレバ 之 ナクテハ ウマキ

料理 モ ヨキ 菓子 モ 製スル コト アタハザル ベシ 砂糖 ハ

多ク(サト)キビノ シル ニテ製ス

(二)左ノ語句ニ漢字ヲ入レヨ

支那 は その はとん きはめて 大きく わが國 とは いつたいの

(一) かいすい を へだつる のみ にて こらい ひが の こーつー ひん

ばん なり

●作文ノ中假名遣

- (一)左ノ漢字ノ音ヲ示セ
道路 巨商 運鈍 俗論 雜選
- (二)左ノ假名遣ノ正否ヲ判別シテ之ヲ訂正セヨ
むいひ(報) さかひ(界) くらい(位) ひろい(廣) あお(青) うお(魚) し
お(鹽)

●作文ノ中作文

(一)余カ生地

各自生育セシ地方ノ地勢風俗生業等ニツキテ述ブベシ

(二)朋友ニ忠告ヲ與ヘテ却テ絶交ヲ申込マレタレバ再ビ之ニ與フル書牘

●習字

進廣公益

右楷行草三體用紙三葉ニ書スベシ

小學校専科ノ部 (三十四年十一月)

▲教授法

- (一)小學校ニ於テ選針ヲ教授スル際生徒ニ持タシムヘキ選針切ハ定何ナル地質及色合ヲ可トスルカ
- (二)裁縫教授ノ方法ハ必ラス一齊的ナルベシトハイヘドモ時トシテハ個人的教授ヲ使用スルノ必要アリトイフハ何故カ
- (三)裁縫教授用ノ材料ニ實物ヲ用フルト雛形ヲ使用スルトハ何レガヨロシキカ且其理由ヲ述ベヨ

▲綴方

- (一)與フルトヨロノ切ニテ補綴ヲナスベシ
 - (二)與フルトヨロノ用布ニテ四ツ身裕衣服ノ上前半身ヲ縫フベシ
- 但筒袖トスルニ注意ス

右仕立寸法左ノ如シ

(一) 長マノ袖丈 六寸八釐 但離襟ノ袖丈ニテハ

(二) 長マノ袖巾 七寸五分

一、袖口 三寸五分

一、衿肩明 一寸五分

(三) 身ノ入ッ口 二寸五分

其他ノ寸法ハ普通トス

▲積リ方

(一) 巾一尺七寸小紋ちりめんニテ女衣服一枚ヲ裁ツニ袖丈一尺六寸身丈四尺一寸ニ

(二) 七ハ用布如何ヲ要スルカ其裁方ノ圖并ニ算式ヲ示セ(表地ノ寸法)

▲裁チ方

(一) 與ツル所ノ用紙ニテ三ツ身單衣服ヲ裁ツベシ

但袖丈裁切一尺四寸

尋常小學校本科正教員裁縫科ノ部 (三十四年十一月)

▲教授法

(一) 裁縫教授ノ方法ハ必ラズ一齊的ナルベシトハイハレドモ時トシテハ個人的教授ヲ使
用スルノ必要アリト云フハ何故カ

▲裁方

(一) 與フルトヨロノ用紙ニテ三ツ身單衣服ヲ裁ツベシ

但シ袖丈裁切一尺四寸

▲縫方

(一) 與フルトヨロノ用布ニテ四ツ身拾衣服ノ上前半身ヲ縫フベシ

但シ筒袖トス

右仕立寸法左ノ如シ

一、袖丈

木寸八分 但シ附ツメ

一、袖巾

七寸五分

二、袖口

三寸五分

三、衿肩明

一寸五分

四、身ノ八ツ口

二寸五分

其他ノ寸法ハ普通トス

第一回施行小學校教員檢定試驗問題 (三十五年四月)

尋常小學校正教員ノ部

▲修身科

- (一) 我が國ニ於テハ忠孝ハ其本ヲ一ニスト其義ヲ説明セヨ
- (二) 公德ヲ涵養スル方法ヲ略述セヨ

▲教育科

●教育學

- (一) 注意作用ヲ説明シ且教師ノ之ニ就キテ心得ベキコトヲ記セ
 - (二) 教育ノ目的
 - (三) 命令、看護示範ニツキテ知ル所ヲ述ベヨ
- 教授法管理法
- (一) 教科連絡ノ必要並ニ其連絡ノ方法如何
 - (二) 初メテ筆算加法ヲ教フル時ノ順序方法如何
 - (三) 綴リ方ノ訂正ヲ板上ニ於テスルト草稿帳ニ於テスルトノ利害如何
 - (四) 學業成績ヲ平素考查スル方法如何

▲算術科

●筆算

- (1) 麥三俵米五俵ノ價金合セテ四十三圓六十五錢又麥九俵米六俵ノ價金合セテ七十四圓
二十五錢ヲラバ各一俵ノ價幾何ナルカ
- (2) 空車ハ一時間ニ二十五町ヲ行キ重車ハ一時間ニ十五町ヲ行ク今東倉ノ米ヲ西倉ニ

移せしニ七時間ニ五回往復セリト云々兩倉ノ距離幾何ナルカ

(3) $(\frac{2}{3} + \frac{1}{4} \times \frac{1}{2}) \times (14 \times 2 \frac{1}{2} - 1 \frac{1}{2})$ ノ値ヲ小數ニテ表ハスベシ

但運算ノ順序ヲ明記セシムト要ス
(4) 米十二石ノ價ハ麥二十石ノ價ニ等シク麥十石二斗ノ價ハ餅米六石ノ價ニ等シク餅米三石ノ價三十圓六十錢ナルトキハ米一石ノ價幾何ナルカ

●珠算

(1) $123,456 + 37,5672 + 4368,73 + 50,3633 + 788,567$ ノ値ヲ求メ然ル後夫レヨリ $21,63 +$

$152,45 + 170,63 + 75,7507$ ノ値ヲ減スベシ俾前ノ値ト後ノ値ト最後ノ答數トノ三通

リヲ記シ置クベシ

(2) $(67,893 - 8,687) + 823 + 7546 \times (2356 - 945) - 9370 \times 170$ ノ値ヲ求ムベシ

(3) 長一町四十二間三尺幅十二間四尺ノ土地アリ其坪數幾何ナルカ又之ヲ地積法ニテ

命ズルニ其反別幾何トナルカ

▲國語科

●講讀 (第一)

嗚呼社會の遷移毎に衆人の意表に出で其の間又變故百出して殆ど端倪すべからざる者あるが如し然りと雖も秩然紊れずして統緒の尋ぬべき者常に其の中に存せずんばあらず而して其極必ず達すべきの地に達するに非ざれば已まざるなり是れを水に譬ふるに其の初め源泉混々として山間を出で溪谷を經巨巖に激し砂洲に阻せられ屈曲彎回奔流となり瀑布となり淺瀬となり深淵となり千様百態一々名狀すべからざるも其勢常に低きに就きて終に海に達するが如し孟軻曰く「禹之行水水之道也」を夫の政治の道たる他にあらず則ち社會の大勢を察して此れを指導するにあり

以上詳解

●講讀 (第二)

(三)左の歌を極めて安らかに とき 旦ぬと かしとを 更に説明せよ

水はうつはにひたがひてそのさまなりぬなりぬなり心のこまに むちうち

て、まなびのこみちにしるめかし

(三)左ノ讀方及ビ解

宿病 折衷 遞送 街ふ 羅敷の御油 なかくくに いとをかしかづく

● 文 法

(一)動詞(作用詞とも云ふ)詞ノ種類ニヨリテ、其活様ヲ異ニス一例ヅツヲ擧ゲテ其活様ヲ示セ

(二)左ノ文ニ誤リアラバコレヲ訂正セヨ

(一)小供を學校に通はして、書物を習はせる

(二)演説は中止されたり

(三)下されまじく候

(四)此の書物を著はせし人は誰なるや

(三)左ノ假名ノ正否ヲ判別シテ訂正セヨ

弟オトコト 帚オホヤ 植ウエル 絶タエテ 而クヒテ 堪タエテ 而クヒテ 悔クヒテ 而トヒテ 解トヒテ 而トヒテ 舞マフテ 而トヒテ

● 作 文

(一)春日登山ノ記

右普通文

(二)己レノ經驗談ヲノベテ朋友ニ教育者トナランコトヲス、ムル文

右書牘文

● 習 字

先難後得

右楷行草三體用紙三葉ニ書スヘシ

君ノタメ タミノタメソト オモハスハ 雪モ ホタルモ ナニカ アツメン

▲ 地 理 科

(一)東海道鐵道ト關西鐵道トノ交叉點ヲ記セ

(二)大阪神戸兩港ノ長短ヲ比較セヨ

(三)本縣人ノ多ク移住シ居ルハ海外ニ於テハ、何レノ地方ナルカ

- (四) ダニエーブ河ノ境勾國ニ與フル商業上ノ利益ヲ記セ
- (五) 英國ノ領地ヲ記セ

▲ 歴史科

● 日本史

- (一) 南北兩朝分立ノ原因如何
- (二) 徳川幕府ノ世ニ於ケル海運事業ノ發達ヲ述ベヨ
- (三) 左ノ事項ニツキ概述セヨ
平安奠都 山崎合戦 天曆ノ治

▲ 理科

第一

- (一) さくらノ花ノ縦斷圖トさくらノ葉ノ圖トヲ畫キテ各部ノ名稱ヲ記入セヨ
圖ハナルベク大ク且ツキレイニ畫クベシ
- (二) 脊椎動物トハ如何ナル動物ヲ指スモノナルカ及ビ此ノ動物ハ何々類ニ區別セラレ

ルカ各類ノ實例四ツツ、以上ヲアゲヨ

- (三) 麻、松、ところてんぐさ、さんご、おツとせい、鮭

右ハ尋常小學校讀本中ニアル植物及動物ノ名ナリ各ニツキテ簡單ナル説明ヲ試

ミヨ

- (四) 筋肉ト骨トハ人體ニ如何ナル用アルカ

第二

- (一) 蠟燭ノ燭ヲ團扇ニテ煽グバ消ユル理如何
- (二) 炭酸ソーダ(炭酸ナトリウム)ノ性質用途ヲ叙セヨ
- (三) 川ノ堤防ヲ歩行スルトキ水面ニ映ズル月ガ自己ト共ニ進行スル理如何
- (四) 落雷ハ如何ナル現象ナルカ

▲ 漢文科

天正十一年十月、羽柴氏相地形、謂洛邑山勢逼塞、困於運輸、且無地可列邸第、
 不足以待庶邦會同、莫若大阪宏敞、襟帶河海、四通五達之便十一月、大城大阪殫

力經畫、課列侯漕巨石聚大木、所役凡十餘國、及竣功、殿宇之壯麗、塹壘之完固、號爲天下第一

▲ 歷史科

● 外國史

- (一) 忽必烈治世ノ頃元ノ版圖及國勢如何
- (二) 十五六世紀ノ頃西洋ニ於ケル航海業ノ發達ヲ述ベヨ
- (三) 左ノ事項ニツキ單簡ニ述ベヨ
 - 赤壁ノ戰
 - 十字軍

尋常小學校准教員ノ部

▲ 地理科

(二時間)

- (一) 大阪は本邦商業の中心地なりと稱す其所以を問はん
- (二) 本邦に於て養蠶、製絲の盛大なる地方は何れなるか

(三) 左の所在地并に其著名なる所以を示せ

- 1 西宮町 2 熱海町 3 足尾町 4 宇治山田町 5 杵築町 6 金澤市 7 嚴島 8 關ヶ原 9 笠置山 10 阿蘇山 11 諏訪湖 12 大井川 13 五稜廓 14 若松港 15 佐世保港

▲ 歷史科

(二時間)

- (一) 傳教大師 德川齊昭
 - 右二人ノ重ナル事蹟ヲ述ベヨ
- (二) 應仁ノ亂ノ結果 班田收授
 - 右ニツノ事柄ニツキ知ルトコロヲ述ヘヨ

▲ 算術科

● 筆算

(二時間)

- (1) 炭二十四俵ノ價十一圓五拾二錢ノ時四十八俵ト薪入十五束ト交換スレバ炭一俵ニ付三錢ノ利益ニ當ルト云フ薪一束ノ價幾何

(2) 三十五週四日十八時二分五十九秒ヲ五百八十三等分セヨ

但シ複名數ヲ以テ答ヘヨ又運算ヲ添ヘヨ

(3) 米若干ヲ甲乙丙ノ三人ニ分ツニ甲ハ全體ノ三十分ノ十三ヲ得乙ハ全體ノ三十分ノ十一ヲ得丙ハ其餘ヲ取レリ而シテ丙ノ所得ハ乙ノ所得ヨリモ七斗五升少カリシト云フ全體ノ米幾何

(4) $6975.85 + 133 + (5.949 - 3.726) + (21.4 \times 8.04)$ ノ値ヲ求ム 但シ運算ヲ示セ

(5) 元金六百圓ヲ年利一割二分ニテ貸シ若干年ノ後利息金百八十圓ヲ得タリト云フ然ラバ幾年貸セシガ

● 珠 算 (一時間)

(1) 炭八十四貫アリ三貫五百目ヲ以テ一俵トナストキハ幾俵トナルカ

(2) 三里二十九丁ヲ尺數ニ化セヨ

(3) $(131.94 \times 125) - (10506 \div 125)$ ノ値ヲ求ム

又割算及乗算ノ命位法ヲ記セ

▲ 國 語 科

● 講 讀 (第一)

彼れ等は出軍の命を受けてより其の家を棄て父母妻子を忘れ又其の生命をも顧みざるなり只顧る所は盡忠報國の四字にあり彼れ等は寤寐の間にも之れを念ひ造次顛沛にも之れを忘れざるなり此れがために勇氣胸中に鬱積し燃ゆるが如き三伏の日も猶其の暑さを知らず酷寒肌を裂く冬の夜も一片の毛布に眠りて猶寒さを知らざるなり

以上詳解せよ

● 講 讀 (第二)

(一) 左の歌を尋常科四年生によくわかる様にとけ

太閤が一石米を買ひかねて

けふも ゴトカイ あすも ゴトカイ

(二) 左の語に漢字を入れよ(楷書にて字畫を正してかくべし)

兒童をかんとくす、あせながら、ふるきへいふーをはいす、なはを
とぶ、きよーりをしゆつたつす、る、ごちよーい下されごこーぎ
の程 かんめい 仕り候

●習字

先難後得

右楷行二體用紙二葉ニ書スベシ(カキナヲシヲユルサズ)

●作文 (一時間)

(一)運動會

右口語文

(二)同窓會を説立せんことを、友に相談する文

右書牘文

●假名遣

(一)左の文字の音を示せ

橋梁 獨裁 俗論 沿道 製造

(二)左の假名の正否を判別して訂正せよ

弟オトコト 箒ホオキ 思オモフ而ナラ 償ツクナラフ而ナラ 堪タエテ而ナラ 絶タエテ而ナラ 拾ヒラウ 薫カオル

▲修身科

(一)職務ヲ盡スニ當リ心得ベキ必要條件如何

(二)兄弟ノ友愛ヲ全クスルニ主要ナル心得ヲ述ベヨ

▲教科

(一)國語科中の讀方と綴り方との關係併に其各自の目的を陳ベヨ

(二)八なる數の總合分解の方法如何

(三)求知心摸倣心名譽心とは如何及び教師が之に就いて心得べきことを述ベヨ

第二回小學校教員檢定試驗問題 (三十五年十一月)

▲修身科

其 一

- (一) 品性修養ノ必要ヲ述ベ併セテ其修養上留意スベキ條項ヲ舉ゲヨ
- (二) 國家ニ對スル吾人ノ本務ヲ説明セヨ
- (三) 公共心養成ノ必要ナル所以ヲ説明セヨ

其 二

我國ハ立憲制君主國タルコトヲ説明セヨ

(注意) 其一、其二ハ各別紙ニ認ムベシ

▲ 教 育 學

- (一) 類化トハ如何
- (二) 意志(執意)ヲ決スルニ對シテ智的情的作用ノ關係如何
- (三) 教授ハ兒童ヲシテ自發活動ヲ爲サシムベシトイフコトヲ詳説セヨ
- (四) 教育ニ關シテ自己ノ所感ヲ記セ
- (五) コメニユース氏ノ教育說ノ概略ヲ述ベヨ

(六) 左ノ推理ノ正否ヲ判ゼ

破廉恥ノ行爲ハ賞讃スベキモノニアラズ。國事犯ハ破廉恥ニアラズ。故ニ國事犯ハ賞讃スベキモノナリ

● 教授法管理法

- (一) 學業成績ノ平素考查法ヲ詳述セヨ
- (二) 左ノ教科ノ教育的價值如何
唱歌 體操 圖畫 手工
- (三) 郷土科教授ノ目的並ニ方法ノ大要如何
- (四) 始メテ按分比例ヲ教授スル時ノ教案一時間分ヲ作ル

▲ 國 語 科

● 講 讀

(一) 東山なる住家を出で、相坂の關うち過ぐる程に、駒ひきわたる望日の頃も、やうやう近き空なれば、秋霧たふむたり、深き夜の月影、ほのかなり。ゆふ告げ

鳥かすかに音づれて、遊子なほ残月に行きけん幽谷の有様、思ひ出でらる。

(二)命すてつる ますらをが をたけびしけん 石垣に ちしほの紅葉 今もなほ
めざましきまで 散りかかる

(三)方丈記は其の大原山に閑居せしとき、安元三年の大火、養和の飢饉、治承四年の大風、天曆二年の大地震等、年來の事の感を記したるものなるが故に、隨筆にして日記、日記にして隨筆なり。其の文筆自由自在にして、枕草子に亞ぎ、また殆んど徒然草と肩を駢ぶるに足る。

以上一、二、は普通にこれを詳解し、三は文學史の方面より詳解すべし

●作文文法中ノ作文

(一)父兄ニ與ヘテ尋常小學校ヲ卒業セル女子ノ高等小學校ニ入學スルヲ勸誘スル文
話語體書簡

(二)縣下實業ノ現状

普通文

●作文文法中ノ文法

(一)動詞ノ語格ヲ擧ゲテ簡單ニ説明セヨ

(二)左ノ文ノ詞ノ種類ヲ分チ、其ノ動詞(作用詞、形狀詞、助動詞ヲ總稱ス)ニハ、語格及ビ語勢(態トモイフ)ヲ附記シ、其ノ作用詞ニハ、自他ヲモ附記スベシ

ことばづかひ おだやかなら す して 人 を いからせ、これが ため
に、交際 を たた れ たる こと は、世間 その 例 に ともしか
ら ず

(三)左ノ文ノ誤ヲ訂正シ、且其ノ理由ヲ略記セヨ

(一)數百騎をぞ率ひたり (二)中學の課程ををはりたるが故に實業に従事させた
り (三)かくまうせしかばいたふ感じさせられし

(四)左ノ文ヲ分語法ニ由テ謄寫シ、且傍訓ヲ施セ

但シ字音ノ假名遣ハ、文部省ノ制定ニ從フベシ
全都概ね火焰の中に包まれて其の勢いつ消ゆべしとも見えざりき此の時瑞賢の

家も目の前に焼けむとしけるに家具を取出さむともせず、唯有金を懐にして俄かに信州の木曾に向ひて出立したり

●習字

(一) 弗慮胡得

右楷書ニテ書スヘシ

(二) 重キヲ負ウテ遠キヲ涉レバ地ヲ擇バスシテ休ス

右行書平假名ニテ書スベシ

▲算術科

●筆算

- (1) 上中下三種ノ反物アリ其代金合シテ拾九圓ニシテ上中各二反ト下三反トノ代金ヲ合スレバ四拾參圓五拾錢ニシテ上ハ中ヨリ壹圓五拾錢高シト云フ各一反ノ價如何
- (2) 父ノ齡ハ滿五十二年ニシテ子ノ齡ハ滿二十一年ナリ幾年前ニ子ノ齡ハ父ノ齡ノ五分ノ一ナリシカ

- (3) 甲乙丙丁ノ四商アリ共ニ商業ヲナシテ二千五百九十五圓ノ利潤ヲ得タリ而シテ其釀出ノ資金ヲ比スルニ甲ト乙トハ四ト三トノ如ク乙ノ四倍ハ丙ノ五倍ニ等シク丙ノ三分ノ二ハ丁ノ四分ノ三ニ等シト云フ今之ニ應シテ分配スレハ各人ノ所得幾何トナルカ
- (4) 酒アリ水ヲ精酒ノ一割六分ノ割合ニテ混合セルモノナリ今更ニ水若干升ヲ加ヘシニ其ノ全量ハ九斗六升トナリテ水量ハ精酒量ノ二割八分トナリシト云フ然ラハ後ニ加ヘタル水量ハ幾何ナルカ
- (5) 金若干圓ヲ年六分ニテ五年七ヶ月十二日間借リ元利合計六百六十八圓五拾錢ヲ返却セリト云フ此元金幾何ナルカ

●珠算

- (1) $1.953 \div 8.68 \times .035 = .432 \times .0011$ ノ値如何
- (2) 球ノ體積ハ半徑ノ立方ト比例スルモノナリ今半徑五寸ノ球ノ體積五百二十三立方寸奇零六ナルトキ半徑七寸ノ球ノ體積幾何ナルカ

(3) 田地七町六反五畝十八歩ノ價金六千八百九十圓四拾錢ナルトキハ壹段ノ價幾何ナルカ

▲ 數學科

● 代數

(1) $a^3 - 3a^2b + 3ab^2 - b^3 = c^3 \quad \vee \quad a - b = 0$ ニテ除セヨ

(2) 一升四十五錢ノ酒一石五斗ト一升三十錢ノ酒若干トヲ買フテ之ヲ混合シテ一升四十錢ニ賣リテ元價ノ三割ヲ利センニハ一升三十錢ノモノ幾許ヲ買フテ可ナルカ

(3) $\frac{x+3}{x+1} + \frac{x-6}{x-4} = \frac{x+4}{x+2} + \frac{x-5}{x-3}$ ノ根ヲ求ム

(4) $\sqrt{x+9} = 2\sqrt{x-3}$ ヲ解ケ

(5) $\left. \begin{aligned} x^2 + 3xy &= 7 \\ y^2 + xy &= 6 \end{aligned} \right\}$ 上ノ聯立方程式ヲ解ケ

● 幾何

(1) 二等邊三角形ノ底邊ノ端ヨリ之レニ對スル邊ヘ引ケル垂線カ底邊ト爲ス所ノ角ハ頂角ノ半分ニ等シ

(2) 與ヘラレタル角BAC内ノ與ヘラレタル點Oヲ過ク直線BOCヲBCガOニ於テ二等分セラ

(3) 正三角ノ一ツノ頂點ヨリ之ニ對スル邊ヘ引ケル垂線上ノ正方形ハ邊ノ半分ノ上ノ正方形ノ三倍ナリ

● 簿記

(1) 左ノ取引ヲ仕譯セヨ

十一月五日 富士屋ヨリ米五十石十二圓七十錢替ニテ掛ニテ買入ル

七日 三井銀行ヘ二千五百圓當座預ヲナス

九日 屋根ノ修繕ヲナシ之ガ代金トシテ十八圓五拾錢ノ約束手形ヲ渡ス

十七日 富士屋ヨリ借金ヲ返済ス

廿一日 家屋及地所ヲ買入レ此代價二千五百圓及ヒ周旋料三十五圓ヲ現金

- (2) 複記式ニ於ケル元帳結算ノ順序ヲ問フ
- (3) 如何ニシテ元帳ニ於テ損益及結算資本高ヲ知ルカ
- (4) 左ノ仕譯帳ヨリ元帳ニ轉記セヨ

明治三年 十五年	摘要	借方	貸方
10 2	金銀ハ 資本主ニ	100 00	100 00
10 5	商品ハ 八塚ニ	13 00	13 00
10 6	梅本ハ 下村ニ	14 50	100 00
10 7	商品ハ 下村ニ	86 00	86 00
10 10	受取科ハ 商品ニ	85 00	85 00
10 15	商品ハ 拂手形ニ	93 20	93 20
10 18	商品ハ 金銀ニ	47 60	47 60

▲地理科

●地誌

- (一) 信濃ヨリ流レ出ヅル川々並ニ之ニ沿フタル都邑ヲ記セ
- (二) 横濱ヨリニューヨークニ至ル道筋ヲ記セ
- (三) 大西洋ニ面スル港灣中有名ナルモノヲ舉ゲヨ
- (四) 揚子江流域ノ有様ヲ記セ
- (五) 左ノモノヲ説明セヨ

(イ) 京都疏水 (ロ) 大阪築港 (ハ) 碓氷隧道

●地文

- (一) 山ノ成立并ニ其人文上ノ効能ヲ述ベヨ
- (二) 海嘯ノ起因ヲ問フ
- (三) 花崗岩ハ地文學上何時代ニ成立セシモノナルカ其成立ノ理由モ併セ記スベシ
- (四) 雨ト露、霧ト雲トノ差別ヲ示セ

▲物理化學科

●物理

- (一) 密度ノ比重トノ區別ヲ問フ
- (二) 人工氷ノ製法ハ如何ナル理ニヨルカ
- (三) 音ノ「うなり」ノ現象ヲ説明シ且其「うなり」ノ數ノ増減スル理由ヲ問フ
- (四) 蠟燭ノ光ニテ黄色ト白色トガ區別シ難キハ何如ナルカ
- (五) 電版術ノ方法ト原理トヲ説明セヨ

● 化學

- (一) イオン説ニヨリテ中和ノ現象ヲ説明セヨ
- (二) 水硝子ノ製法及用途ヲ示セ
- (三) 次ノ三物質ニ對スル硝酸ノ反應ヲ方程式ニテ示セ
(イ) 鉛丹 (ロ) ベンガラ (ハ) 朱
- (四) 靑藍ニヨリテ糸ノ染マル理由ヲ問フ
- (五) アルカロイドトハ何ゾ其所在及一般ノ性質ヲ記セ

▲ 歴史科

● 日本史

- (一) 隋唐交通以來其ノ我國ニ及ボシシ影響如何
- (二) 徳川氏ノ初世ニ於ケル幕府ト朝廷トノ關係如何
- (三) 左ノ事項ヲ説明セヨ

族制政治 刀伊ノ寇 東山時代ノ文藝

● 外國史

- (一) 近世ニ於ケル以太利ノ統一ヲ問フ
- (二) 我弘安頃ニ於ケル東洋諸國ノ狀勢如何
- (三) 左ノ事項ヲ問フ

第一、三頭政治 必勝艦隊又無敵艦隊 周ノ井田法 長髮賊

▲ 動物植物礦物科

- (一) 魚ノ外形ヲ書キテ各部ノ名稱ヲ記入セヨ
- (二) 鳥ノ消化器ヲ説明セヨ

- (三) 小學理科書ノ蛇ト云フ題目ノ下ニ「口ハ大キク開キ蛙ノ如キ稍大ナル動物ヲモ吞ミ下スヲ得ルナリ」ト云フ句アリ右ニツキ詳ニ説明セヨ
- (四) 種子ノ構造ヲ説明セヨ
- (五) 導管ニツイテ知ルトコロヲ述ベヨ
- (六) 世代ノ交番トハ何ゾ
- (七) 銅及ビ銅鑛ノ重要ナルモノニツキテ記述セヨ
- (八) 火成岩ト水成岩トヲ比較シ各實例三ツツ、以上ヲアゲヨ

▲生理科

- (一) 上肢ノ骨格ト下肢ノ骨格トヲ比較セヨ
- (二) 血液ノ組成ト其ノ作用トヲ問フ
- (三) 寒キ時ニ膚粟ヲ生ズルハ何故ナリヤ
- (四) 内耳ノ圓窓ノハタラキ

小學校本科正教員檢定試驗問題(女子) (三十五年十一月)

▲修身科

- (一) 誠實ノ徳ヲ修養スル方法ヲ述ベヨ
- (二) 國家ニ對シ愛國心ノ必要ナル所以ヲ説明セヨ
- (三) 一家ヲ整理スルニ主婦ノ心得ベキ條件ヲ列舉セヨ

▲教育學

- (一) 觀念聯合ノ諸律ヲ説明シシノ各ニツツツノ何ヲ舉ゲヨ
- (二) 訓育トハ如何ニシテ行ハレヨ
- (三) 五段教授法トイフコトヲ説明セヨ
- (四) 幼稚園ニツイテ知レルコトヲ記セ

●教授管理

尋常本科正教員ニ同シ

▲國語科

●講 讀 (第一)

(一)源三位は軍終に打破られ

埋れ木の花咲くことも無かりしに、みの成る果てぞあはれなりける

と一首の歌をよみて自殺せり

右女子高等一年生ニ了解セシムルヨ一講義スヘシ

(二)蛙は古今の序にかゝれてより、歌よみの部に思はれたるこそ幸なれ、朧月夜の風
静まりて、遠く聞こゆるはよし。古池にとんで翁の目さましたれば、このもの、
事さらにも誇りがたし

(三)池野大雅は其の書と漢をかね、山水人物花鳥皆妙を極め、頗る奇韻あり。粗書密
書共に雅致を含みて優に一家をなせる偉人なり

右(一)(二)詳解すべし

●作 文 文法ノ中文法

(一)作用詞(動詞と)ノ種類ヲ示シ、且其ノ一例ツ、ヲアゲテハタラカセヨ

(二)左ノ文ノ誤ヲ正シ、且其理由ヲ示セ

(一)延喜の治と申せしは何れの御世なるや (二)心に誓ふて堅く守りし

(三)數百騎をぞ率ひたり

(三)左ノ文ノ詞ノ種類ヲ分テ

名詞 徵兵 なるば れたる もの ば つねに よく その 務 に 服
し 非常 の 時 に は 命 を 惜ま ず して 國 の 光 を かが
やかさ む こと を つとむ べし

(四)左ノ文ヲ分語法ニテ謄寫シ、且傍訓ヲ施セ。但シ字音ノ假名遣ハ文部省ノ制定ニ
從フベシ

東一は小樽より汽船に乗込みて青森に渡り東京行の汽車に投じ盛岡仙臺等を経
て岩代の福島に着きたり

●作 文

(一)婦人會ニ臨ミテ「母ノ教育」トイフ題ニテ話スル草稿(談話體)

(二) 菊ヲ贈ル手紙 (書簡文)

● 習 字

男子小學校本科正教員ニ同シ

▲ 算 術 科

● 筆 算

男子小學校本科正教員ニ同シ

● 珠 算

(1) $1.953 + 8.68 \times 935 - 432 \times .0011$ ノ値如何

(2) 球ノ體積ハ半徑ノ立方ト比例スルモイナリ今半徑五寸ノ球ノ體積五百二十三立方寸奇零六ナルトキ半徑七寸ノ球ノ體積幾何ナルカ

(3) 田地七町六反五畝十八歩ノ價金六千八百九十圓四拾錢ナルトキハ壹圓ノ價幾何ナルカ

▲ 數 學 科

● 幾 何

(1) 三角形ノ三ツノ角ノ和ハ二直角ニ等シキコトヲ證スベシ

(2) 與ヘラレタル四邊形ノ相隣シル邊ノ中點ヲ結ヒ付クル直線ハ一ツノ平行四邊形ヲナス

(3) 梯形ノ面積ヲ求ムル方法并ニ其理由ヲ問フ

▲ 地 理 科

● 地 誌

(一) 貿易港トシテ具備スヘキ物件ハ如何我國ノモノニヨリ例ヲアゲテ之ヲ説明スヘシ

(二) 本國ニ於テ大學高等學校及高等專門學校ノ所在地并ニ其學校種類ヲ示セ

(三) 支那婦人ノ風俗ノ一斑ヲ示セ

(四) 北米合衆國ノ政體ヲ説明シ尙世界ニ於テ同様ノ政體ヲ有スル國ノ二三ヲアゲヨ

(五) 左記ノ所在國并ニ其著名ナル所以ヲ記セヨ

半田 桐生 吳 仁川 江寧 コロンボ ジェルサレム リオン シカゴ

▲ 歴史科

● 日本史

- (一) 隋唐交通以來其ノ我國ニ及ボシ、影響如何
- (二) 徳川氏ノ初世ニ於ケル幕府ト朝廷トノ關係如何
- (三) 左ノ事項ヲ説明セヨ
 - 族制政治 刀伊ノ寇 東山時代ノ文藝

● 地文

- (一) 海岸線ノ長短ハ大ニ其地ノ文化ニ影響ヲ及ボスモノナリトノ理由ヲ述ベヨ
- (二) 山林濫伐ハ氣候ヲ惡變セシメ又暴流ヲ起成スルノ恐アリ其所以ヲ問フ
- (三) 地文學上ヨリ觀察シタル富士山ノ記事ヲ作レ

▲ 理科

● 第一

- (一) 節足動物トハ如何ナル動物ナリヤ又之レハ何々類ニ分類セラル、カ各類ノ實例三ツツ、以上ヲアゲヨ
- (二) ナタネナノ花ノ構造ヲ問フ
- (三) 環蟲類 胞子 被子植物 外套膜 葉綠粒
 - 右各簡單ナル説明ヲナセ

● 第二

- (一) 硫酸ノ製法性質ヲ問フ
- (二) 如何ナル方法ニヨリテ硬水ト軟水トヲ區別スルカ
- (三) 竹又ハ麥稈ヲ焚クトキハバチノ音ノ發スル理如何
- (四) 呼鈴ノ構造及作用如何

▲ 歴史科

● 外國史

- (一) 亞米利加大陸ハ如何ニシテ發見セラレタルカ

(二) 佛教ノ東流如何

(三) 左ノ人々ノ事歴ヲ略説セヨ

エリサベヌ女王 則天武后 張良 鬼室福信

● 日本歴史

(一) 隋唐交通以來其ノ我國ニ及ボシ、影響如何

(二) 徳川氏ノ初世ニ於ケル幕府ト朝廷トノ關係如何

(三) 左ノ事項ヲ説明セヨ

族制政治 刀伊ノ寇 東山時代ノ文藝

小學校准教員檢定試験問題 (三十五年十一月)

▲ 修身科

(一) 父母没後ノ孝通ヲ説ケ

(二) 忠孝兼備セル例語ヲ舉ゲヨ

(三) 公共心ヲ缺クヨリ生ズル弊害ノ實例ヲ列舉セヨ

▲ 教育科

(一) 教師ノ具テ可キ資質如何

(二) 應急的管理ノ方法ヲ畧述セヨ

(三) 國語科讀方教授ノ應用段ニ於テハ如何ナル事ヲナスカ

(四) 初メテ分數除法ヲ教フル第一時間分ノ教案ヲ作レ

▲ 國語科

● 講讀 (第一)

桓武天皇、大納言藤原の小里麻呂等をして山背の國葛野郡宇太村の地を相て新都を造營せしめ給ひ初は新宮と稱せしが延暦十三年に至り謚して曰はく子來之民、謳歌の輩、異日同辭、號曰平安京、今宜從之とあり

右雙柱ノ符アル處ハ讀ミ方ヲ附シ、單柱ノ處ハ解釋スヘシ

● 講讀 (第二)

(一) 左ノ語ニ讀方及解ヲ附セヨ

- (1) 喝采
- (2) 闕字
- (3) 腐植上
- (4) 怒濤澎湃
- (5) 樞密顧問

(二) 左ノ歌ヲ解セヨ

名にし負はばいざこととはん都鳥、我が思ふ人はありやなしやと

(三) 左ノ語ヲ漢字ニテ書ケ

- (1) きつぎびんべん (2) ほーれん(天子のみ)
- (3) さつとー(さん)
- (4) すさまじ (5) くるめがすり

● 作文

第一

(一) 小學教員ハ特ニ品行ヲ慎マザルベカラザル所以ヲ論ズ

右今體普通文

第二

左ノ文ニ傍訓ヲ施セ但字音ノ假名遣ハ文部省ノ制定ニ從フベシ

(一) 種紙とも蠶卵紙ともいふ。 (二) 懶惰遲鈍にして、用をなさず。 (三) 手足敏捷にして、活動自由なり。 (四) 好悪常ならず。 (五) 漫りに報道すべからず。 (六) 先づ土地を耕耘し、稲苗を植付け、肥料を施し、之を刈り之を扱

ぎ、之を響き、之を簞せざるを得ず

● 習字

(一) 弗爲胡成

右楷書ニテ書スベシ

(二) 善モ積マザレバ名ヲ成スニ足ラズ

右行書平假名ニテ書スベシ

▲ 算術科

● 筆算

- (1) 甲乙兩地相距ルコト六十里ナリ今此兩地ヨリ同時ニ使ヲ發シ同方向ニ進マシメシニ甲地ヲ發セシモノハ日ニ十三里進ミ乙地ヲ發セシモノハ日ニ十里半ツ、進ムト

スレバ幾日ニテ甲ハ乙ニ追及スベキカ

- (2) 或人九千八百圓ヲ出シテ耕地若干ヲ買ヒ後一反ノ價六十四圓ニテ一部ヲ賣リ七千六百八十圓ヲ收メ九百六十圓ノ益ヲ得タリト云フ由テ問フ此人始メ買フ所ノ地積幾何

- (3) 男三人女四人子供五人ニテ毎日十時間ヅ、働カバ六日間ニ九反歩ヲ耕ストイフ男七人女六人子供十一人が毎日十一時間働キ三町三反歩ヲ耕スニハ幾日ヲ要スルカ但シ男ト女ト子供トノカノ割合ハ三ト二ト一ト一トノ如シ

- (4) 二工事アリ甲乙二工ニテナサバ十四日六分ノ五ニテ落成スベシ若甲一人ニテナサバ三十日四分ノ一ニテ落成スベシトイフ今此二工共ニ十二日三分ノ一ノ間作業シ甲休業セリ由テ問フ殘業ヲ乙一人ニテナサハ更ニ幾日ヲ經テ落成スヘキカ

- (5) $(\frac{1}{3} + \frac{2}{3}) + (\frac{2}{3} - \frac{1}{3}) \times (\frac{1}{5} + \frac{3}{5})$ ノ値ヲ求ム

● 球算

- (1) 四ノ段ノ割聲ヲ記シ其意義ヲ説明セヨ

- (2) 綿木綿一尺ノ價四錢六厘ナリ此品三百六十七反ノ價幾何

但シ一反ハ二丈八尺トス 又此二割引ノ價幾何

- (3) 或會社ニテ其資本金ヲ一株百圓トシテ二千三百五十株ニ分テリ此會社或年ノ營業

ニ於テ左ノ決算ヲ得タリ此配當年貳割ニ當ルカ

利 益 二九二八三、八〇圓十錢

職工賃金 三七四三、五〇

役員給料 二二六五、〇〇

雜 費 八七五、三〇

積立金 三五〇〇、〇〇

此餘ヲ株主ニ配當ス

- (4) $5346 + 0.357$ ノ値ヲ求メ厘以下四捨五入セヨ 且ツ割算ノ命位法ヲ述ベヨ

▲ 歴史科

- (一) 保元ノ亂ハ如何ニ成リ行キシヤ

- (二) 内宮及外宮ノ御鎮座ヲ述ベヨ
- (三) 左ノ事項ヲ問フ

徳政 御三卿

- (四) 左ノ人々ノ事蹟ヲ問フ

北畠顯家 松下容保

▲地理科

- (一) 概畧ヲ以テ北海道ノ地勢氣候ヲ記ルセ
- (二) 本邦ニ於テ鯉、鱧、鱒、鱒ヲ産出スル著名ノ漁場ヲ示セ
- (三) 瀬戸内海ニ治フ著明ノ名所舊蹟ヲアゲヨ
- (四) 左記ノ所在地并ニ其景況ノ一斑ヲ記ルセ
 - 漢口 北河 バンコック リヨン アントウエルプ シカゴ セーロン パナマ
 - 死海 ウラル

▲理科

●第一

- (一) 花ノ部分ヲ記セ
- (二) 昆蟲類トハ如何ナル動物ヲ指スモノナリヤ

●第二

- (一) 鹽素ノ性質製法ヲ述ベ且其化學物ノ最普通ナルモノ三種ヲ舉ゲヨ
- (二) プリキハ如何ニシテ作レルカ
- (三) 融解熱トハ何ゾ

尋常小學校本科正教員檢定試験問題

▲修身科 (二時間)

- (一) 誠實ハ百行ノ根本ナル所以ヲ説明セヨ
- (二) 自他ノ交際上心得ベキ條件ヲ述ベヨ
- (三) 教育勅語中ノ我カ國體ノ精華ト云フコトヲ詳ニ説明セヨ

▲ 教育科

● 教育學 (二時間)

- (一) 父兄ニ向テ教育ノ効果ヲ演説スル要點ヲ記セ
- (二) 觀念聯合ノ法則
- (三) 個性ニ對スル特殊教育法ノ大要

● 教授法管理法 (二時間)

- (一) 學業成績ノ平素考查法ヲ詳述セヨ
- (二) 教授上兒童ヲ活動セシムルトハ如何ナル意味ナルカ又其方法ハ如何
- (三) 國語科中ノ話方教授ノ目的并ニ其方法ノ大要如何
- (四) 縦横ノ間數ヲ知リテ坪數ヲ求ムルコトヲ始メテ教フル時ノ教授ヲ作レ

▲ 國語科

● 講 讀 (第一) (一時間)

盛衰榮枯は世の常なり、それによりて志をかへぬは是れ亦士の常なり、もし時の

模様につきて覺悟を變じ世話にいふ襟元につく様にては何を以て士といふべき、

水邊、楊柳綠煙ノ絲立馬ヲ煩シ君折一枝ヲ唯有春風ノ最相憶 慙慙更ニ向手中ニ吹

これ唐の楊巨源が楊柳の詩なり、此の三四の句意婉にして面白くおぼゆ、其意を翁がよめる歌に

(三) なれて吹くなごりや惜しき青柳の手折りし枝をしたふはるかぜ
以上詳解せよ

● 講 讀 (第二) (一時間)

(一) 左ノ文字ニ誤アラバ正セ

(一) 徳川光圀學を好み、群書を涉獵し、大日本史を擇び、楠氏の忠節を著す。明の遺臣朱舜水清の粟を食ふを辱ぢ、我が國に没歸す。光圀延いて師とす、光圀民を惠み鰥寡孤獨を恤み、雜穀を貯蓄し、凶歲にこれを發して賑濟す。

(二) 左ノ語句ヲ兒童ニ向ツテ説明セヨ (漢字ニハ讀方ヲモ附ケテ)

- (1) りーこー (2) 上布 (3) 間屋 (4) 府縣稅 (5) そぞろに
- (6) なぞらふ (7) 飛び来るや玉のただ中へ面もふらず向たり

●文法 (作文ノ中文法) (二時間)

(一)作用詞(動詞ト)ノ種類ヲ擧ゲ、其ノ一例ツツヲ掲ケテ活カセヨ

(二)左ノ文ノ誤ヲ正シ、且其ノ理由ヲ示セ

- (1) 節儉と吝嗇の區別は何なるや (2) 切に問ふて詳に辨へり
- (3) この牛はいたふ暑ければこそ喘ぐなり

(三)左ノ文ヲ分語法ニテ謄寫セヨ

すべて徴兵にえらばれたるものは、常によく其の務に服し、非常の時には、命を惜まずして、國の光をかかやかさむことをつとむべし

左ノ文ニ傍訓ヲ施セ (但字音ハ文部省制定ノ法ニ從フベシ)

東一は小樽より汽船にて青森に渡り東京行の汽車にて盛岡仙臺等を経て岩代の福島に到着したり

●文法 (作文ノ中作文) (二時間)

(一)運動會

右ハ話語體ノ文ニテ漢字ヲ交へ、ますトイフ語ヲ入レテ、尋常四年生ノ模範文タル程度ニ於テ作レ

(二)學校に於いて、勤儉、貯蓄につき、修身講話をなしたる模様を報じ、且生徒に實行せしむることにつきて、父兄に謀る文

右ハ書牘文ニテ作レ

●習字 (二時間)

(一)弗爲胡成

右楷書ニテ書スベシ

(二)善モ積マザレバ名ヲ成スニ足ラズ

右行書平假名ニテ書スベシ

▲算術科

● 筆算 (二時間)

- (1) 或人約束シタル時間ニ於テ或地ヘ行カントスルニ毎時平均二里ヅ、進ムトスレバ八時間後レ若シ又毎時平均四里ヅ、進ムトスレバ五時間早ク着スベシト云フ然ラバ約束ノ時間及ヒ其距離幾何ナルカ
- (2) 或人其所有金ノ四分ノ一ヲ慈善會ニ贈リ其殘餘ヲ五人ノ子ニ等分シテ與ヘシニ其中二子ハ其所得金ヲ合シテ四等分シ學校、病院、盲啞院及育兒院ニ寄附セシニ其一分ノ金高ハ參百六十圓ナリシト云フ此人ノ所有金幾何ナリシカ
- (3) 或學校ニ於テ試験ヲ行ヒシニ全生徒數ノ五分ノ一ハ滿點ノ五分ノ四ヲ得、殘餘ノ八分ノ三ハ滿點ノ十分ノ七ヲ得、又其殘餘ノ二十五分ノ十八ハ滿點ノ二分ノ一ヲ得、又其殘餘ハ滿點ノ三分ノ一ヲ得タリト云フ今滿點ヲ十點トスレバ生徒ノ平均得點ハ幾點ナルカ
- (4) 甲乙丙ノ三商共ニ商業ヲナシ九百三十八圓ノ利潤ヲ得タリ今其資本ノ割合ヲ問フニ甲ト乙トハ四ト三トノ如ク、乙ト丙トハ七ト六トノ如クナリト云フ然ラバ此割合ニ利潤ヲ配當セバ各人ノ所得幾何ナルカ

● 珠算

- (1) $6975,85 + 133,1 - (5,949 - 3,726) + 21,4 \times 804$ ノ値ヲ算出セヨ
- (2) 圓ノ面積ハ半徑ノ平方ト正比例ヲナスモノナリ今半徑五尺ノ圓ノ面積七十八平方尺五十四平方寸ナルトキハ半徑七尺ノ圓ノ面積幾何ナルカ
- (3) 甲乙二組ノ農夫アリ甲組ハ一週ニ三町七段四畝二十二歩ノ地ヲ耕シ乙組ハ五日間ニ三町二段九畝五歩ノ地ヲ耕スト云フ然ラハ此兩組俱ニ二週間働クトキハ幾何ノ地ヲ耕スベキカ

▲ 歴史科

● 日本史 (二時間)

- (一) 壬申ノ亂ノ原因如何
- (二) 鎌倉時代ニ起レル新派ノ宗教ニツキテ知ルトコロヲ述ベヨ
- (三) 左ノ諸項ヲ問フ

越蝦夷征戰 網吉ノ弊政 大覺寺統

▲地理科

- (一) 木曾川ノ効用ヲ記セ
- (二) 我が國ニテ用フル石油ノ產地ヲ記セ
- (三) 和歌山ヨリ長崎ニ至ル道筋ヲ記セ
- (四) 黒江漆器ノ販路ヲ問フ
- (五) 日本ト英國トノ相似タルトコロヲ説明セヨ

▲理科

●第一 (二時間)

- (一) 左ノ言葉ノ意味ヲ説明セヨ
托葉 花糸 胚 兩生類 單眼
- (二) 植物ノ滋養物ヲ取ル方法ヲ略述セヨ
- (三) 左ノ動物ハ何類ニ屬スルモノナリヤ

カメ、ウシ、イモリ、ムカデ、ヒル、イソギンチャク、ナマコ
フヂツボ、ナメクジ

(四) 血液ノハタラキヲ問フ

●第二 (二時間)

- (一) 石炭瓦斯ノ製法及組成ヲ問フ
- (二) 白熱電氣燈ノ球内ヲ空眞ニスル理由如何
- (三) 音ヲ發スル器ニ手ヲ觸ルレバ音ノ止ムハ何故ナルカ

▲幾何

- (1) 二等邊三角形ノ頂角ヲ二等分スル直線ハ底邊ヲ直角ニ二等分ス
- (2) 直角三角形ノ斜邊ノ中點ハ三ツノ頂點ヨリ相等シキ距離ニアリ
- (3) 三角形ノ一邊ヲ直徑トシテ畫キタル圓周ハ第三邊或ハ其延長ノ上ニ於テ出會フ

尋常小學校准教員檢定試驗問題

▲修身科 (二時間)

(一) 父母歿後ノ孝道ヲ説ケ

(二) 忠孝兼備セル例話ヲ舉ゲヨ

(三) 公私心ヲ缺クヨリ生ヌル弊害ノ實例ヲ列擧セヨ

▲教育科 (二時間)

(一) 教師ノ具フ可キ資質如何

(二) 應急的管理ノ方法ヲ畧述セヨ

(三) 國語科讀方教授ノ應用段ニ於テハ如何ナル事ヲ爲スカ

(四) 八ト云フ數ノ分解結合ノ順序ヲ示セ

▲國語科

●講讀 (第一) (一時間)

(一) 四百餘州のいのち綱いかで斷たじと一筋にかけて頼みしふな軍よすがも術もしら
波に折れて漂ふみつ申身を盡しても最せめて人の玉の緒繋ぎける心かなし

かすかに

以上詳解セヨ

(二) 左ノ熟語ニ字音ト解釋トヲ附セヨ

宴樓 磊落 肝食 拯難

●講讀 (第二) (一時間)

(一) 左ノ御製ヲ尋常科第三年生ニヨクワカル様ニ説ケ

(二) いたしへの文見るたびに思ふかな、おのがをさむる國はいかにと

(三) 左ノ文字ニ誤アラバ正セ

(一) 徳川光圀殖産に意を用ひ、間曠の地に漆楮を植ゑ、牧場を開いて馬を養ひ、蛤
を海に放ちて其繁殖を圖りたり。又小金原の驛路、原野曠遠にして、行人路を
失し安さを以て松を栽ゑて路を粟しき。

●作文ノ中假名遣

左ノ文ニ傍訓ヲ施セ (但字音ハ文部省制定ノ法ニ從フベシ)

- (1) 好悪常ならず
- (2) 漫に報道すべからず
- (3) 種紙とも蠶卵紙ともいふ
- (4) 懶惰遲鈍にして用をなさず
- (5) 耳目聰明手足敏捷にして活動自由なり

● 作文ノ中作文

(一) 余が樂しむ

右、話語體文

(二) 運動器械買ひ入れの必要を述べて、寄附金を募集する文

右、書牘文

● 習字

(二時間)

身ハ親ノ枝ナリ

右行書平假名ニテ書スベシ

▲ 算術科

● 筆算

(二時間)

(1) $6.94 \times 125 = 3458000 + 8600$ ノ値ヲ求ム

但シ運算ヲ添へ置クベシ

(2) 甲乙二人ノ農夫アリ甲ハ一時間ニ三町七反四畝二十二歩ヲ耕シ乙ハ五日間ニ三町二反九畝五歩ヲ耕セリト云フ然ラバ此人共ニ働カバ二週間ニ幾何ノ地ヲ耕スベキカ

(3) 米搗三人ニテ若干ノ米ヲ搗クニ五十八時間ヲ經テ甲ハ全量ノ七分ノ二乙ハ十四分ノ三丙ハ二十一分ノ四ヲ搗キシニ尙ホ一石三斗殘レリト云フ米ノ全量ヲ問フ又悉ク搗クニハ尙ホ幾日ヲ要スルカ

(4) 或工場ニ於ケル職工ノ日給子供ハ男ノ三分ノ一女ハ子供ノ二倍ニシテ甲四人ノ日給ハ女五人ノ日給ヨリモ二十四錢多シト云フ子供一人ノ日給幾何

(5) 千三百二十四人ノ軍隊四列縱隊トナリ各列ノ間三尺ノ距離ヲ保テ毎分二十五間ノ速度ニテ行軍スル途中長サ三十一町五十間ノ峠ヲ越エタリ此隊ノ最初ノ列ガ峠ニカ、リテヨリ最後ノ列ガ峠ヲ下リ終ルマデニ要スル時間幾何ナルカ

● 珠算 (一時間)

- (1) 縦二十八間半横二十三間ノ矩形ノ地面アリ此中へ二十三坪ノ住宅ト八坪五合ノ納屋トヲ建テ十五坪ヲ庭園トシ其他へ一坪五本ツ、ノ割ニ桑ヲ植エントス此桑苗一本四錢五厘トセバ此總代價幾何
- (2) 或職工四日間ニ三十五時三十五分間働ケリ此割合ニテ十七日間ニハ幾時間働クベキカ
- (3) $35,4775 \div 115 \times 2.3$ ノ値ヲ求ム

- (4) 柿千七百五十八個アリ之ヲ一籠ニ付七十五個ツ、入レシニ其端數ノ價十三錢二厘ナリシト云フ此總代價幾何又之ヲ一割引ニ賣ラバ其價幾何

▲ 歴史地理科

● 歴史 (一時間)

- (一) 應仁ノ亂ハ如何ニシテ起リシヤ
- (二) 左ノ人々ノ事蹟ヲ舉ケヨ

空海 井伊直弼

- (三) 左ノ事柄ヲ解ケ

大織冠 天主教

● 地理 (一時間)

- (一) 本邦本土ノ南ニ於テ半島(大小五ヶ所)内海(大ナルモノニヶ所)灣(大ナルモノニヶ所)ヲ記セ
- (二) 本邦ニ於テ漆器、絹織物ノ産出ヲ以テ著名ナル地方ヲアゲヨ
- (三) 左記ノ所在地并ニ其著名ナル所以ヲ問フ
高野 横須賀 足尾 杵築 基隆

小學校正教員

▲ 裁方

一、裁方

與フルトコロノ用紙ニテ男袴羽織表ヲ裁ツベシ
但袖裁切一尺五寸

二、縫方

與フルトコロノ用布ニテ一寸襷上前ノ襷ヲ縫フベシ

三、教授法

- (一)裁縫ハ他ノコレト關係アル學科ト連絡シテ教授スベシトイフハ何故カ
- (二)裁縫科ノ普通教育ニ於ケル適當ナル教材ノ範圍ヲ問フ

尋常小學校正教員

一、積リ方

木綿織表地一反(二丈八尺)金巾裏地一反(二丈七尺三寸)袖口一掛ヲ以テ男袴服ヲ
裁ツニ袖丈一尺四寸身丈三尺六寸ノ仕上トセバ其裁方ハ如何ニシテ可ナルカ

二、裁方

常巾物ニテ四ツ身衣服ヲ裁ツベシ

但シ袖丈一尺五寸ノ裁切

三、縫方

與フルトコロノ用布ニテ五分襷左右ノ襷ヲ縫フベシ

附 錄

和歌山縣尋常師範學校豫備科規則

- 第一條 生徒ハ每學年ノ始ニ於テ募集シ其ノ出願期日、薦舉期日、生徒ノ種類及人員等ハ豫メ告示ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス
- 第二條 但本科女生徒及簡易科豫備科生徒ノ募集ハ本文ノ時期ニ依ラサルコトアルヘシ
入學ヲ許可スヘキ者ハ規定ノ資格ヲ具ヘ身體ノ検査及學力ノ試験ニ合格シタルモノニ限ル
- 但豫科卒業生ヲシテ本科又ハ簡易科ニ入學セシムルトキハ本文ノ検査及試験ヲ行ハサルモノトス
- 第三條 身體ノ検査ハ公私立病院又ハ內務省免許醫ノ作リタル検査書(第三號書式)ニ依リ尋常師範學校長ニ於テ之ヲ調査シ其ノ適否ヲ定ムルモノトス
但時宜ニ依リ尋常師範學校ニ於テ特ニ検査ヲ行フコトアルヘシ
- 第四條 學力ノ試験ハ左ノ程度ニ依リ尋常師範學校又ハ郡役所ニ於テ之ヲ行フモノトス
- 一 本科生徒及簡易科生徒ハ明治三十三年八月文部省令第十四號小學校令施行規則

第百七條 學科目及程度

但當分本文ノ學科目中教育理科圖書唱歌音樂及體操ヲ省ク

豫備科生徒ハ左記ノ學科目程度

國語 語解(漢字交リ文) 作文(書牘文及漢字交リ文)

算術 珠算(加減乘除) 筆算(整數分數小數ノ加減乘除)

地理歴史 日本地理日本歴史ノ大要

第五條 入學志願ノ者ハ每募集期ニ告示スル期日內ニ入學願書(第四號書式)ニ市町村

長ノ證書ヲ受ケタル履歷書(第二號書式)及身體檢查書(第三號書式)戶籍吏ノ證明

タル戶籍謄本ヲ添ヘ郡市長ヲ經テ師範學校長ニ差出スヘシ

第六條 本科入學志願ノ者ニシテ其ノ入學試驗ニ合格セザルモ本人ノ希望ニ依リ男子

ハ簡易科若シテハ豫備科ニ女子ハ豫備科ニ入學ヲ許スコトアルヘク簡易科入學志願

ノ者ニシテ其ノ入學試驗ニ合格セザルモ本人ノ希望ニ依リ豫備科ニ入學ヲ許スコト

アルヘシ

但本文ノ希望アル者ハ豫メ副願(第四號書式)ヲ入學願書ニ添附スヘシ

第七條 生徒ハ入學ノ際保證人ヲ定メ誓約書(第六號書式)ヲ差出スヘシ

但保證人ハ丁年以上ノ男子ニシテ縣內ニ本籍ヲ定メ且土地建物ヲ有スル戶主ニ限

ルモノトス

第八條 保證人ノ住所尋常師範學校ヨリ一里以外ニ在ル者ハ其ノ以內ニ居住スル代理

者ヲ定メ豫メ連署ヲ以テ學校長ニ届出ツヘシ

第九條 保證人死去シ若クハ其資格ヲ失フトキハ直ニ他ノ保證人ヲ定メ第七條ニ依リ

更ニ誓約書ヲ差出スヘシ

保證人代理者死亡シ又ハ遠隔ノ地ニ移住スルトキハ直ニ他ノ代理者ヲ定メ第九條ニ

依リ更ニ學校長ニ届出ツヘシ

(第一號書式)

履 歷 書 (用紙半紙)

何郡(市)何町村大字何番地居住

華(士)族(平民)何某長二男(女)弟(妹)等(又ハ戶主)

氏 名

生 年 月

一本 籍 何府縣何郡(市)何町村大字何番地

一生誕地 何府縣何郡(市)何町村大字何番地

學 業

自 年 月 日 何 學 科 修 業 名

至 年 月 日 何 學 科 修 業

學校又ハ教師名

何 學 校

自 年 月 日 何 學 科 修 業
何 府 學 校

(卒業證書免許狀ノ寫ハ此所ニ記載スヘシ)

職 務

自 年 月 日	辭 令	官 廳 名
自 年 月 日	何 々 ヲ 命 ス	何 府 廳
自 年 月 日	何 職 申 付	何 府 役 所
至 年 月 日	依 願 職 務 ヲ 免 ス	何 府 縣

賞 罰

年 月 日	辭 令	官 廳 名
年 月 日	何 々 ノ 廉 ニ 依 リ 賞 或 ハ 罰 ヲ 被 ル 等	何 府 廳 縣

右之通相違無之候也

明治 年 月 日

右 氏 名 印

右何某履歷前記ノ通相違無之且從來小學校教員タルニ不都合ノ行爲無之候依而此段證明候也

明治 年 月 日

何市(町村)長 氏 名 印

(第二號書式)

身體檢查書 (用紙半紙)

族 籍

氏 名

生 年 月

一、體 質 傷痕疾病ノ有無、若アラハ其ノ種類、名稱、豫後ノ如何、筋肉發育ノ良否、各部構造ノ完全不完全

二、身 長 何尺何寸何分(直立セルトキ顛頂ヨリ蹠底ニ至ル長サ)

三、胸 圍 何尺何寸何分(兩手ヲ左右ニ水平ニ展開シタルトキ乳房部ニ於ル周圍)

四、體 重 何貫何百何十何匁

五、視 力 近視、遠視、亂視、斜視、正視等ノ別及七色辨識力ノ有無

六、聽 力 重聽正聽等ノ別

七、音聲言語 發音ノ高低清濁、言語ノ澁訥明亮等

八、痘 種痘、天然痘、未痘ノ別、種痘ナラハ其ノ最近年月日

右ノ通ニ候也

明治 年 月 日 何公(私)立病院又ハ免許醫 氏 名 印

(第三號書式)

入學願書 (用紙半紙)

私儀本縣小學校教員志願ニ付御校本科(簡易科又ハ豫備科)へ入學致度別紙履歷書及身體檢查書相添此段相願候也

本籍何府縣何郡(市)何町村大字何番地

住所右同所又ハ何郡(市)何町村大字何番地

何府縣華(士)族(平民)

何某長二男(女)弟(妹)等(又ハ戶主)

明治 年 月 日

氏 名 印

和歌山縣師範學校長宛

(第四號書式)

副願書 (用紙半紙)

私儀今般師範學校本科(簡易科)入學志願ニ付薦舉願書(入學願書)差出候處試験ノ結果不合格ノ爲該科ニ採用不相成候ハハ再查ノ上簡易科(簡易科若クハ豫備科)(豫備科生徒ニ採用相成候様希望致候依テ此段副願仕候也

明治 年 月 日

氏 名 印

郡(市)長宛 (第一種生志願者ニ限ル)

師範學校長宛 (第二種生志願者ニ限ル)

(第五號書式)

誓約書 (用紙美濃紙)

印紙

今般何某儀御校本科(簡易科)(豫備科)へ入學被差許候就テハ在學中堅ク校則ヲ守リ半途退學致ササルハ勿論卒業後ハ誓テ縣内小學校教員ニ從事致スヘク(御指示ニ從ヒ御校本科若クハ簡易科ニ入學致スヘク)萬一怠惰不品行等ニ依リ退學ヲ命セラレ若クハ卒業後規定ノ義務ヲ竭スコト能ハサルトキハ御規則ノ通本人又ハ保證人ヨリ在學中給與セラレタル學資金一時ニ還納致スヘク其他本人身上ニ關スル一切ノ事件ハ保證人ニ於テ負擔致スヘク候依テ連署誓約候也

何郡(市)町村大字何番地華(士)族(平民)

何某長二男(女)弟(妹)等(又ハ戶主)

本人 氏 名 印

何郡(市)町村大字何番地華(士)族(平民)戶主

保證人 氏 名 印

明治 年 月 日

和歌山縣師範學校校長宛

右保證人何某當市(町村)内ニ於テ土地(建物)ヲ有シ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之此段證明候也

明治 年 月 日

何市(町村)長 氏

名 印

和歌山縣尋常師範學校豫備科規則

第一條 和歌山縣師範學校豫備科ハ本科若クハ簡易科ニ入學セシムヘキ者ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條 入學志願者ハ左ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

- 一 品行方正、身體健全ニシテ本縣小學校教員トナルノ志望鞏固ナル者
- 二 修業年限四箇年ノ高等小學校ヲ卒業シ又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者
- 三 卒業後本科若クハ簡易科ニ入學スヘキトキ男子ハ年齡滿十六年以上二十年未滿女子ハ年齡滿十五年以上二十年未滿ノ者但特別ノ事情アルトキハ二十年以上二十五年以下ノ者

第三條 生徒ニハ在學中手當トシテ一ヶ月一人ニ付金貳圓ヲ給與ス夏期休業中ハ之ヲ與セス

第四條 修業ノ期限ハ六箇月トシ學科目及其ノ程度ヲ定ムルコト左ノ如シ但事宜ニ依リ本條ノ學科目ヲ増減スルコトアルヘシ

- 一 修身 人倫道德ノ要旨
- 一 教 育 教授法、學校管理法ノ大要
- 一 國 語 解釋 漢文交リ文及近易ナル雅文 文法 假名遣ヒ
- 一 算 術 珠算 加減乘除 筆算 整數分數小數ノ加減乘除及比例利息算
- 一 地 理 管内地理及日本地理ノ大要
- 一 歷 史 日本歷史ノ大要
- 一 習 字 楷書、行書、草書
- 一 體 操 普通體操

第五條 定期間在學シ全科卒業ニ至ラサルモ三學科以上合格ノモノニハ其學科ノ證明書ヲ與フ

卒業證書

何府縣華(士)族(平民)

姓 名

生 年 月

右ハ當校ニ於テ豫備科ノ課程ヲ卒業セリ仍テ茲ニ之ヲ證ス

年 月 日 和歌山縣師範學校長位勳 姓 名 印

第六條 師範學校長ハ豫備科卒業生ニ就キ其ノ在學中ノ成績ヲ按シ次ノ入學期ニ於テ本科若クハ簡易科ニ本入學ヲ許可スルモノトス

但尋常師範學校長ノ意見ニ依リ卒業生ト雖モ本條ノ入學ヲ許可セス又修業證書ヲ有スル者ト雖モ本科若クハ簡易科ニ假入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第七條 豫備科卒業證書若クハ修業證書ヲ有スル者ニシテ成規ノ年齢ニ達スルトキハ乙種檢定ニ依リ尋常小學校本科准教員ノ免許狀ヲ授與スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ檢定手數料及免許手數料ヲ徴收セサルモノトス

第八條 生徒在學中怠惰又ハ品行不良其ノ他生徒タルノ本分ヲ誤ル行爲ニ依リ放校ヲ命セラレ又ハ卒業後本縣小學校ノ教職ニ從事スルニアラスシテ本科若クハ簡易科ニ入學ノ指示ニ應セサルトキハ給與シタル學資金ヲ一時ニ償還セシムルモノトス

和歌山縣中學校規則拔抄

第四章 生徒ノ入學退學及懲戒

第六條 生徒ノ入學ハ毎年一回學年ノ始ヨリ三十日以内ニ於テ之ヲ許ス

但欠員アルトキハ學期ノ始ヨリ十日以内ニ於テ臨時入學セシムルコトアルヘシ

第七條 入學ヲ許スヘキモノ、學力ノ檢定等ハ明治三十四年文部省令第三號中學校令施行規則第四十二條乃至第四十四條ノ規定ニ依ル

第八條 願ニ依リ退學セルモノ一ケ年以内ニ再入學ヲ請フトキハ事情審査ノ上無試験ニテ原學年以下ノ學級ニ編入スルコトアルヘシ

第九條 他ノ中學校ヨリ轉學セントシ及ヒ他ノ中學校ニ轉學セントスル生徒ニ對シテハ明治三十四年文部省令第三號中學校令規則第四十六條ノ規定ニ依ル

但他ノ中學校ヨリ轉學スル生徒ノ差出スヘキ書類ハ本則第十條乃至第十二條ニ準スヘシ

第十條 入學志願者ハ左式ノ願書ニ履歷書ヲ添ヘ差出スヘシ

原籍現住所身分

氏 名

生 年 月 日

右ノ者今般御校第何學年へ入學爲致度候間御許可被下度同人履歷書相添へ此段相願候也

父兄、後見人又ハ親戚

何 誰 印

年 月 日

和歌山縣何中學校長氏名宛

履 歷 書

族 籍

氏 名

生 年 月 日

學 業

一、尋常小學校 何年何月何尋常小學校ニ入り何年何月卒業

二、高等小學校 何年何月何高等小學校ニ入り何年何月第何學年修業

一、其他ノ學校 何年何月ヨリ何年何月マテ何所ニ於テ何修業等

賞 罰

一、何年何月何ノ廉ニヨリ何ノ賞(或ハ罰)ヲ受ク

右相違無之候也

右

何 誰 印

年 月 日

第十一條 入學ヲ許サレタルモノハ左ノ資格ヲ有スルモノヲ正副保證人トシ其連署ヲ以テ在學證書ヲ差出スヘシ但正保證人學校所在地ヨリ一里以内ニ住居スル場合ニ於テハ副保證人ヲ要セス

正保證人 丁年以上ノ男子ニシテ其父兄後見人若クハ最近親戚或ハ之ニ準スヘキモノ一人

副保證人 丁年以上男子ニシテ學校所在地一里以内ニ住シ一家ヲナセルモノ一人

但シ學校長ニ於テ保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ改メシムルコトアルヘシ

在 學 證 書

印紙

私儀今般入學御許可相成候ニ付テハ御校規則ヲ確守シ勤學スヘキハ勿論猥リニ半途退學又ハ轉學等致間敷候仍テ證書差出候也

原籍、現住所身分

氏 名 印

生 年 月 日

前書何誰御校在學中ニ係ル一切ノ事件ハ渾テ保證人ニ於テ引受可申候仍テ保證仕候也

原籍、現住所、身分、職業

正保證人 氏 名 印

原籍、現住所、身分、職業

和歌山縣何中學校長氏名宛

副保證人 氏名 印

第十二條 保證人ハ其保證スル生徒ニ關シテ學校へ差出ス願屆等ニ用フル印ヲ定メ其印鑑ヲ差出スヘシ

第十三條 保證人轉住若クハ改印シタルトキハ遲滯ナク其旨届出ツヘシ

第十四條 保證人旅行セントスルトキハ相當ノ代理者ヲ立テ届出ツヘシ

第十五條 保證人死亡シ若クハ第十一條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ在學證書ヲ改メ差出スヘシ

第十六條 生徒疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ退學セントスルトキハ其事由ヲ詳記シ保證人ヨリ願出ツヘシ

第十七條 生徒左ノ各項ノ一ニ觸ル、モノハ退學ヲ命ス

- 一、 性行不良ニシテ改善ノ見込ナキモノ
- 二、 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナキモノ
- 三、 何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス引續キ一ケ年以上缺席シタルモノ
- 四、 正當ノ理由ナクシテ引續キ一ケ月以上缺席シタルモノ
- 五、 保證人其義務ヲ盡サ、ルモノ
- 六、 授業料ノ怠納三ヶ月ニ及ブモノ

第十八條 校則命令ニ乖戾シ若クハ品行不良等凡テ生徒ノ本分ヲ誤リタルモノハ其ノ輕重ニ依リ左ノ罰科ニ處ス

一、 拘止(通學生)又ハ禁足(寄宿生)

二、 停學

第十九條 拘止ハ放課後留置シ禁足ハ外出ヲ禁シ停學ハ二日以上一學年以内登校ヲ停止スルモノトス

和歌山縣高等女學校規則拔抄

第四章 入學退學等

第八條 生徒ノ入學ハ毎年一回學年ノ始ヨリ二十日以内ニ於テ之ヲ許ス

但缺員アル時ハ學期ノ初ヨリ十日以内ニオイテ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第九條 願ニヨリ退學セル者一ケ年以内ニ再入學ヲ請フ時ハ事情審査ノ上無試験ニテ原學年以下ノ學級ニ編入スルコトアルヘシ

第十條 第一學年級ニ入學セシムヘキ者ノ學力檢定ハ高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒ヘタル志願者ニ對シテハ其修業證書ニ依リ其他ノ志願者ニ對シテハ試験ニ依ルヘシ
高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒ヘタル志願者ハ其他ノ志願者ニ先チ入學ヲ許スヘシ

但高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒ヘタル志願者ノ數募集人員ニ超過スルトキハ尙
試験ニ依リテ入學者ヲ撰拔スヘシ

第十一條 第一學年ノ入學試験ハ高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒ヘタル者ニ對シテハ
國語、算術ニ就キ其他ノ志願者ニ對シテハ尙ホ日本歴史日本地理ヲ加ヘ高等小學校
第二學年修業ノ程度ニ依リテ之ヲ行フヘシ

第十二條 第二學年以上ニ入學セシムヘキハ相當年齡ニ達シタル者ニ就キ前各年ノ程
度ニ依リ試験ノ上之ヲ撰定ス
第十三條 入學志願者ハ左式ノ願書ニ履歷書ヲ添ヘ差出スヘシ

入 學 願 (用紙美濃紙)

原籍現住所身分

氏 名

生 年 月 日

右之者今般御校本科(技藝專修科)第何學年級へ入學爲致度間御許可被成下度同人履
歷書相添へ此段相願候也

父兄、後見人又ハ親戚

氏 名 印

年 月 日

和歌山縣立和歌山高等女學校校長宛

履 歷 書 (用紙美濃紙)

族 籍

氏 名

生 年 月 日

學 業

一、尋常小學校 何年何月尋常小學校ニ入り何年何月卒業

一、高等小學校 何年何月高等小學校ニ入り何年何月第何學年修業

一、其他ノ學校 何年何月ヨリ何年何月マテ何所ニ於テ何々修業等

賞 罰

一、何年何月何日何ノ廉ニヨリ何ノ賞(或ハ何ノ罰)ヲ受ク

右之通り相違無之候也

右

年 月 日

氏

名 印

第十四條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ左ノ資格ヲ有スル者ヲ正副保證人トシ其連署ヲ以
テ在學證書ヲ差出スヘシ

但正保證人學校所在地ニ住居スル場合ニ於テハ副保證人ヲ要セス

正保證人 丁年以上ノ男子ニシテ其父兄後見人若シクハ最近親戚或ハ之ニ準スヘキ

者一人

副保證人 丁年以上ノ男子ニシテ學校所在地ニ住居シ一家ヲナセル者一人

但學校長ニ於テ保證人ヲ不適當ト認ムル時ハ之ヲ改メシムルコトアルヘシ

在學證書 (用紙美濃紙)

印紙

原籍現住所身分

氏名

生年 月

右之者今般御校ニ入學御許可相成候ニ付テハ御校規則ヲ確守シ勤學セシムヘキハ勿論猥リニ退學等爲致間敷且本人ニ關スル一切ノ事件ハ私共ニ於テ引受可申候仍テ證書差出候也

原籍現住所身分職業

正保證人 氏名 印

原籍現住所身分職業

副保證人 氏名 印

年 月 日

和歌山縣立和歌山高等女學校校長宛

第十五條 保證人ハ其保證スル生徒ニ關シテハ學校ニ差出ス願屆等ニ用フル印ヲ定メ在學證書ト共ニ其印鑑ヲ差出スヘシ

第十六條 保證人轉住若クハ改印シタル時ハ遲滯ナク其旨届出ツヘシ

第十七條 保證人旅行セントスル時ハ相當ノ代理者ヲ立テ届出ツヘシ

第十八條 保證人死亡シ若クハ第十四條ノ資格ヲ失セタル時ハ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第十九條 生徒ノ住所又ハ戶主等ニ異動アル時ハ速ニ保證人ヨリ届出ツヘシ

第二十條 生徒疾病又ハ止ヲ得サル事故ニヨリ退學セントスル時ハ其事由ヲ詳記シ保證人ヨリ願出ツヘシ

第二十一條 生徒疾病其他ノ事故ニヨリ一週間以上缺席セントスル者ハ日數ヲ豫定シ事由ヲ具シテ保證人ヨリ届出ツヘシ

第二十二條 生徒左ノ各項ノ一ニ觸ル、者ハ退學ヲ命ス

一、何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ハラズ引續キ一ケ年以上缺席シタル者

二、正當ノ理由ナクシテ引キ續キ一ケ月以上缺席シタル者

三、正當ノ理由ナクシテ引キ續キ一ケ月以上缺席シタル者

四、出席常ナラサル者

五、學術進步ノ見込ナキ者

六、授業料ノ滯納三ケ月以上ニ及フ者

六、授業料ノ滯納三ケ月以上ニ及フ者

第二十三條 校則命令ニ違背シ若クハ品行不良等ニシテ生徒ノ本分ヲ誤リタル者ハ其
輕重ニ依リ相當ノ罰ニ處ス

一七〇

小學校令施行細則抜抄

第四章 教員檢定及免許

第五十七條 小學校教員試驗檢定施行ノ期日及試驗場ハ一ヶ月前ニ於テ之ヲ告示スヘシ

第五十八條 檢定ヲ請ハントスル者ハ第一號第二號書式ニ據リ檢定願書ニ履歷書ヲ添ヘ所管郡市長ヲ經テ知事ニ差出スヘシ

第五十九條 檢定ノ合格及不合格ハ所管郡市長ヲ經テ之ヲ出願者ニ通知スヘシ

第六十條 檢定手数料ヲ定ムルコト左ノ如シ

小學校本科正教員及准教員 金七拾五錢
尋常小學校本科正教員及准教員 金五拾錢

小學校專科正教員 金五拾錢

第六十一條 檢定手数料ハ第五十八條ノ願書ト同時ニ縣金庫ニ納付スヘシ
前項ニ依リ一旦納付シタル手数料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第六十二條 明治三十三年八月文部省令第十四號小學校令施行規則第一百十三條ニ依リ其ノ科目ニ關シ其ノ試驗ヲ闕クコトヲ得ヘキ學科目ハ本人ノ出願ニ依リ檢定委員會ノ評決ヲ經之ヲ省除スルコトヲ得

前項ノ願書ハ第三號書式ニ依ルヘシ
第六十三條 無試驗檢定出願者ニシテ志望ノ教員資格ニ合格セスト雖モ自餘ノ教員タルニ適スト認ムルトキハ相當ノ免許狀ヲ授與スルコトアルヘシ

前項ノ免許狀ヲ受ケントスル者ハ檢定出願ノ際第四號書式ノ副願書ヲ差出スヘシ
第六十四條 試驗檢定出願者ニシテ免許狀ヲ授與スルニ至ラサルモ某科目ニ於テ相當ノ成績ヲ得タルトキハ該科目ニ對スル合格證明書ヲ授與スルコトアルヘシ此ノ場合ニアリテハ自餘ノ科目ニ就キ更ニ試驗檢定ヲ出願スルコトヲ得

前項ニ據リ更ニ試驗檢定ヲ出願スル場合ト雖モ檢定願書ノ樣式及添付書類ハ仍第五十一條第一項ノ規定ニ據ルヘシ

第六十五條 教員免許狀ヲ有スル者其ノ氏名ヲ變更シ又ハ免許狀ヲ毀損亡失シ書換若クハ再渡ヲ出願セントスルモノハ手数料トシテ金五拾錢ヲ縣金庫ニ納付スヘシ

第一號書式 (用紙半紙)

小學校教員檢定願

私儀和歌山内ニ於テ小學校(尋常小學校)本科正(准)教員(小學校專科何々科正教員)

志願ニ候間試験檢定(無試験檢定)相受度別紙履歷書相添此段相願候也

何府縣何郡(市)何町(村)大字何々番地居住
何府縣華士族平民戸主(何誰何男)(女)等

年 月 日 氏 名 印
和歌山縣知事宛

前書何ノ誰年齡及賞罰等ニ關スル件調査候處別紙履歷書ノ通相違無之依テ證明候也

年 月 日 何府縣郡町村長(又ハ市長) 氏 名 印
第二號書式 (用紙半紙)

履 歷 書

現在ノ職務及俸給又ハ職業等

族 籍

氏 名 印
生 年 月 日

免許狀及證書

一何々免許狀(何年何月何日受領、何府縣又ハ何々)

一何々卒業證書(何學校又ハ何々)

一何々證書(同上)

(免許狀及證書寫ハ別紙ニ認ムヘシ)

學 業

一年月日何學校ニ入學、年月日何科卒業

一年月日何々ニ就キ何科修業又ハ講習シ年月日終了

業 務

一年月日何府縣内小學校訓導ニ任セラレ月俸何圓給與セラレ

一年月日何俸何圓給與

一年月日何官職拜命或ハ何業ニ從事シ年月日依願免官又ハ退職或ハ廢業又ハ現在職

從事等合計小學校訓導(准訓導)ノ職ニアルコト何年何ヶ月何々ノ職ニアルコト何

年何ヶ月

賞 罰

一年月日何所ニ於テ何々ノ廉ニヨリ何々ノ賞與

一年月日何所ニ於テ何々ノ廉ニヨリ何々ノ罰ヲ受ク

右之通相違無之候也

右

氏 名 印

第三號書式 (用紙半紙)

試験檢定科目省除願

何々學校卒業生 何々免許狀所有

氏 名

私儀今般小學校(尋常小學校)本(專)科正(准)教員試驗檢定出願仕候ニ付相當ノ學科
御省除被成下度此段相願候也

年 月 日

和歌山縣知事宛

第四號書式 (用紙半紙)

副 願

私儀今般小學校本(專)科(尋常小學校本科)正教員無試驗檢定出願仕候處檢定ノ上右
資格ニ對スル免許狀御下附相成候節ハ御再查ノ上相當免許狀御下附被成下度此段副
願候也

年 月 日

和歌山縣知事宛

氏

名 印

右

氏

名 印

小學校教員試驗檢定志願者參考書名

修身 ○小學校本科正教員
○憲法義解(伊藤博文)

○孝經 ○論語 ○幼學綱要 ○新編倫理

教科書

○內外教育史(能勢榮) ○倫教育學(湯原元一) ○教育心理學講義
(牧瀬五一郎) ○倫教授學(湯原元一) ○新案教授術(國府寺新
作、柳澤英二郎) ○學校管理法(田中敬一) ○教育ニ關スル現行
法令

○新選國文(石田道三郎) ○大鏡 ○神皇正統記 ○日本文學小史
(高津敏三郎、三上參次) ○普通國文(今泉定介、畠山健) ○文法
書(適宜)

○史記列傳 ○正文文章軌範 ○謝選拾遺 ○孟子 春秋左氏傳ノ類
○國史綱(藤岡作太郎) ○東洋史要(市村瓊次郎) ○西洋史要(小
川銀次郎)

○增訂中學日本地誌(矢津昌永) ○增訂中學萬國地誌(矢津昌永) ○新
撰地文學(山上萬次郎) ○管内地理(適宜)

○近世算術(上野清) ○初等幾何學教科書(菊池大麓) ○チャールズ
小代數學(長澤龜之助、宮田耀之助)

○商用簿記學(竹田寺) ○士都物理學(清野勉)又ハ○新撰物理學教科書(酒井佐保) ○物理

學初步(後藤牧太外二名)
 ○化學教科書(高松豐吉)又ハ○化學教科書(池田菊苗) ○及ソルアア定
 性分析書(磯野徳三郎)ノ内大體
 ○植物學教科書(岡村金太郎) ○石川動物學教科書(石川千代松) ○
 中生理學教科書(山縣正雄) ○新式鑛物學教科書(脇水鐵五郎)
 ○用器書法(平瀬作五郎) ○新撰毛筆書帖(園村宗太郎)卷四ヨリ卷
 八ニ至ル
 ○步兵操典 ○體操教範 ○改正普通體操法
 ○小學校本科准教員
 ○勅諭衍義(秋山四郎) ○勅諭衍義(重野安釋) ○孝經 ○論語
 ○新編教授學(湯本武比古) ○編教育學(湯本武比古) ○小學教授術
 (山高幾之丞、藤井初太郎) ○學校管理法(田中敬二)
 ○新撰國文(石田道三郎) ○神皇正統記 ○假名遣ヒ(物集高見又
 ハ橋本光秋) ○十八史畧 ○日本外史 ○正文章軌範ノ類
 ○訂補日本史要(新保磐次) ○中等東洋小史(藤田豐八) ○中等西洋
 小史(原勇六)
 ○中等中地理(中村五六、頓野廣太郎)「日本ノ部、外國ノ部」 ○新撰
 地理史
 國語及漢文
 修身
 體育
 體操
 圖畫
 博物
 化學

數 學
 博 物 學
 物理化學
 簿 記
 圖畫體操ハ小學校本科正教員ニ同シ
 小地文學(山上萬次郎) ○管内地理(適宜)
 ○初等近世算術(上野清) ○初等幾何學教科書(菊池大麓)
 ○博物示教(濱田俊三郎) ○生理學新書(富山房)
 ○化學(池田菊苗) ○物理學初步(後藤牧太外二名)
 商用簿記學(竹田等)

○尋常小學校正教員ノ部

科目	書名		冊數	著者	發行所
	書名	冊數			
修 身	師範學用修身教科書	卷ノ二冊	中島力造	文學社	
	校用修身教科書	一冊	湯原元一	金港堂	
身 體	育聖論衍義	一冊	湯原元一	國光社	
	本縣所定尋常小學校修身教科書	教師用		富山房	
倫理	倫理論抄	二冊	山本信孝	富山房	
	教科論抄	二冊	山本信孝	富山房	
新教育學大綱	一冊	長谷川乙彦	文學社		

數	理地		史歷		語國		育		教
	外	修	訂	本	中	本	適	令	教
算術小教科書	國地誌	正內國地誌	日本史要	邦史綱ノ類	等國文典ノ類	縣所定尋常 小學校國語讀本	用規學校管理法	授法各論	授法汎論
二冊	一冊	一冊	上下二冊	一冊	上中二卷	至ル七冊 一ヨリセニ	一冊	一冊	一冊
藤澤利喜太郎	新保磐次	新保磐次	新保磐次	峯岸米造	三土忠造	關根正直	鈴木光愛	小山左文二	小山左文二
大日本圖書會社	金港堂	金港堂	金港堂	六盟館	富山房	金港堂	阪上半七	文學社	文學社
									高島平三郎 右文館

○尋常小學校核准教員ノ部

身修	科目		理					學	
	本縣所定尋常科	育教聖論衍義	編新	物	化	世近	學中	小	選新
修身教科書	教師用	普通動物學	理學初步	學	生理學教科書ノ類	新植物教科書ノ類	學算術ノ尋常部	普通算術	
		一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	四冊	二冊	
		湯原元一	後藤牧太外二名	池田菊苗	丘淺次郎	矢澤米三郎	學海指針社	蘭村宗太郎	金港堂
		富山房	普及舍	文學舍	三木佐助	六盟館	集英堂		
		發行所							

教育	新令適用	小教育學ノ類	一冊	樋口長市	同文館
國語	本縣所定尋常科	國語讀本			金港堂
國語	中等教科	國文讀本ノ類	一ヨリ四ニ至ル四冊	關根正直	阪上半七
算術	算術小教科書		二冊	藤澤利喜太郎	大日本圖書會社
術	小學算術ノ尋常科		四冊	學海指針社	集英堂
歴史	內國小史		二冊	新保磐次	金港堂
史	小學國史		四冊	普及舍	
地理	日本地理教科書		一冊	奈佐忠行監修	六盟館
地理	小學地理		一ヨリ三ニ至ル三冊	學海指針社	集英堂

○小學校專科正教員ノ部

科目	書名	冊數	著者	發行所
裁縫	裁縫教授法	一冊	谷田部順子	目黒甚七
裁縫	裁縫教授書	三冊	岩間エミ外二名	普及舍
裁縫	新式裁縫教授法	二冊	樋口米子	女子專門學校

(備考) 本表ハ必ズシモ此書物ニ限ルト云フニハアラズ只程度ノ大體ノ標準ヲ示スノミ

明治三十六年三月十二日印刷
明治三十六年三月十五日發行

著者

宮井平安堂編輯

發行者

宮井宗兵衛

和歌山市新道二丁目二十番地

印刷者

日置市二

東京市神田區錦町三丁目一番地

印刷所

小川印刷所

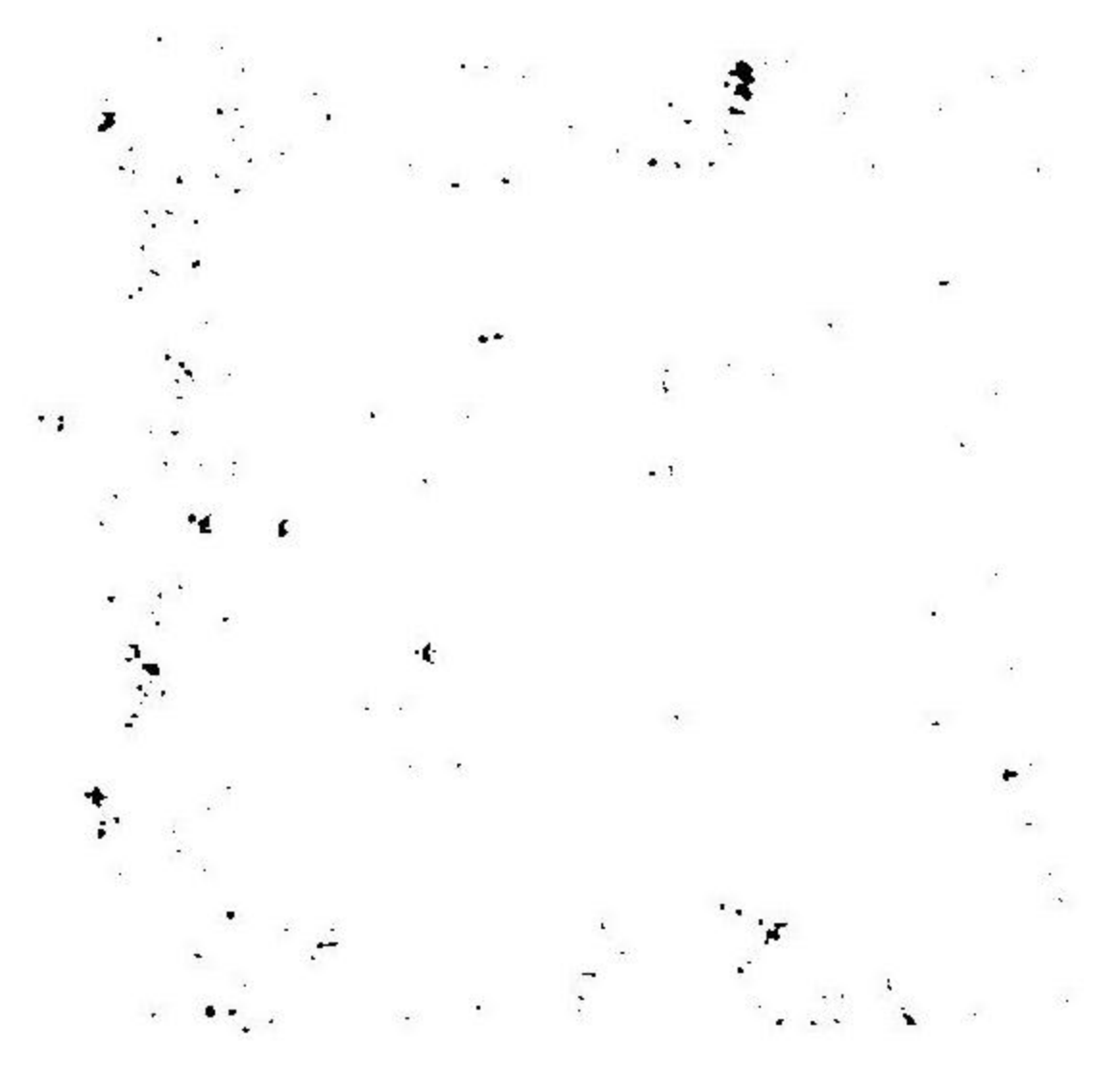
東京市神田區錦町三丁目一番地



教員檢定試驗問題集

正價金 錢

Vertical text on the left side of the page, possibly bleed-through from the reverse side.



Faint, illegible text or markings in the lower right quadrant of the page.

